

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略 にかかると中間総括

宇治市

目 次

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
(1)『確固たる宇治ブランドの確立』	3
①魅力発信プラットフォーム運営等事業	4
②観光振興事業	8
③観光インバウンド推進事業	14
④宇治茶活用事業	18
⑤宇治茶ブランド化事業	26
⑥源氏物語のまちづくり等事業	28
⑦宇治の魅力の深化事業	34
(2)『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	39
①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	40
②宇治への愛着醸成事業	48
③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	52
④多世代交流促進事業	62
(3)『まちの魅力を高める都市基盤の整備』	63
①まち巡りを仕掛ける基盤づくり	64
②交通環境等充実事業	68
③公共施設アセットマネジメントの導入	72
④地域コミュニティの活性化	74
(4)『地域経済の活力づくり』	77
①産業活性化事業	78
②雇用促進事業	82
(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』	85
①若い世代の就労支援事業	86
②結婚・出産支援事業	88
③子育て支援環境充実事業	92
④学習環境等充実事業	102
⑤保幼小中の連携教育推進事業	112
⑥地域等協働子育て環境充実事業	116
地方創生推進交付金(平成30年度)	122
重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧	126
人口動向分析	128
宇治市と大学・企業等との主な連携内容一覧	129

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 基本的な考え方

(1) 総合戦略の目的

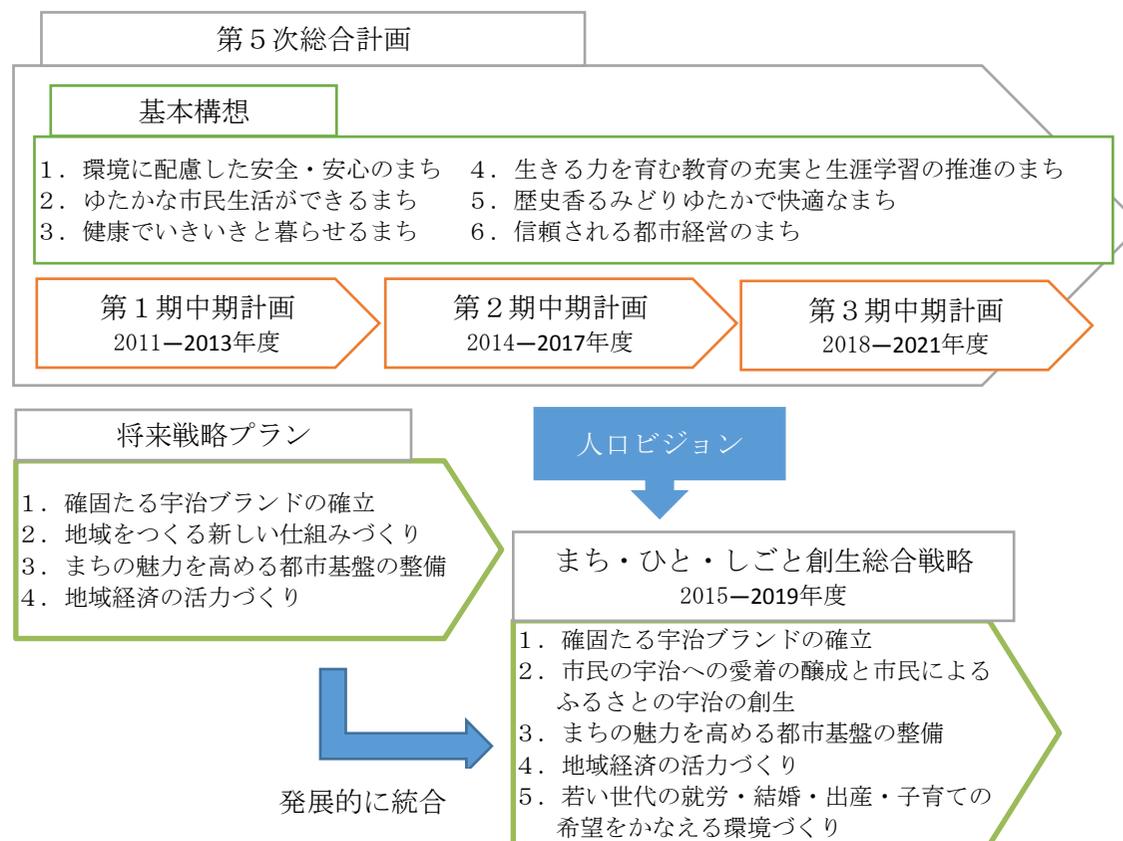
人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 総合戦略の位置付け

本市では、宇治市第5次総合計画(計画期間平成23～令和3年度)において「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像とし、お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治をまちづくりの目標としている。この基本的な考え方は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的考え方等と合致している。

また、平成25年度に策定した宇治市将来戦略プランでは、宇治市第5次総合計画第1期中期計画を受けて、宇治を持続的に発展する都市とするため、産業や観光などの幅広い分野において時代の変化に対応し、『宇治』の魅力を向上させるための具体的な取組を検討した。

本総合戦略では、既に示されている宇治市第5次総合計画・宇治市将来戦略プランを踏まえたうえで、人口ビジョンにおいて示した人口の変化による将来への影響、課題を勘案しつつ、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指した今後の目標、基本的な方向、具体的な施策を示すものである。



2. 事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の達成度により、取組の効果を毎年検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策の見直しを図るなど、PDCAサイクル(※)により、総合戦略の実現性を高める。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、産学官金労言士等の有識者及び市民で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行う。

※PDCAサイクル: Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り組むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3. 評価の対象事業

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、平成27年度から平成30年度に実施した事業について総括するとともに、平成30年度地方創生推進対象交付金対象事業について評価を行った。

なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4. 総合戦略の見直し

本市の人口は依然として減少し続けているが、平成28年度以降、社会動態については、その減少幅は改善している。また、地域ブランド調査による魅力度ランキングは、平成30年度には過去最高の33位となった。重要業績評価指標(KPI)についても8つの指標が目標を達成しており、目標値を修正しつつ、さらなる取組を推進しているところである。

こうしたことから本総合戦略には一定の成果があったと推測され、5つの基本目標に沿った具体的施策の方向性は、人口減少の歯止めに向けた取組として適切なものと考えられる。

今後は、中間総括を踏まえて具体的施策の充実や見直しについて検討し、令和2年度から5年間を計画期間とする第2期創生総合戦略を策定していくこととする。

(1) 『確固たる宇治ブランドの確立』～宇治市に新しい人の流れをつくる～

<p>目標</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるため、本市の魅力を発掘・創造・発信し、観光客をはじめとした交流人口の増加を図り、魅力の実感を通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者を増やすことで社会増を達成する。</p>																																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="360 405 2069 842"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ブランド調査 魅力度全国ランキング</td> <td>38位 (H26年)</td> <td>54位</td> <td>52位</td> <td>37位</td> <td>33位</td> <td></td> <td>29位 (R1年)</td> </tr> <tr> <td>観光客の宇治市満足度(※) (飲食・お土産・景観等)</td> <td>68～95% (H23年度)</td> <td>—</td> <td>55～93%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>全て85%以上 (R4年度)</td> </tr> <tr> <td>観光客のリピーター割合 (※)</td> <td>58% (H23年度)</td> <td>—</td> <td>56%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>70% (R4年度)</td> </tr> <tr> <td>交流人口(観光入込客数)</td> <td>5,201,764人 (H26年)</td> <td>5,598,011人</td> <td>5,587,147人</td> <td>5,509,815人</td> <td>5,398,510人</td> <td></td> <td>7,500,000人 (R1年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※観光動向調査より</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値	地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位	52位	37位	33位		29位 (R1年)	観光客の宇治市満足度(※) (飲食・お土産・景観等)	68～95% (H23年度)	—	55～93%	—	—		全て85%以上 (R4年度)	観光客のリピーター割合 (※)	58% (H23年度)	—	56%	—	—		70% (R4年度)	交流人口(観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人	5,398,510人		7,500,000人 (R1年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値																																									
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位	52位	37位	33位		29位 (R1年)																																									
観光客の宇治市満足度(※) (飲食・お土産・景観等)	68～95% (H23年度)	—	55～93%	—	—		全て85%以上 (R4年度)																																									
観光客のリピーター割合 (※)	58% (H23年度)	—	56%	—	—		70% (R4年度)																																									
交流人口(観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人	5,398,510人		7,500,000人 (R1年)																																									
<p>中間総括</p>	<p>地域ブランド調査による魅力度全国ランキングは年々上昇しており、市民参画・協働による新たな魅力発信や観光振興をはじめ、本市の魅力的な資源である宇治茶や源氏物語を活かした宇治ブランドを高める取組などの効果が表れている。引き続き、これまでの事業効果を検証しながら継続・発展的に取組を進め、さらなるブランド化を推進する必要がある。</p>																																															

< 具体的施策 >

① 魅力発信プラットフォーム運営等事業

目標	国内だけでなく、世界のたくさんの人々に宇治の魅力を発信するため、市民、事業者、各種団体、学校、市の協働で、魅力の発掘・創造・発信する仕組みを構築する。また、動画やご当地キャラなどを活用し、魅力発信の充実を図る。							
重要業績 評価指標 (K P I)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	18団体	21団体	27団体	27団体		当初目標 20団体 ↓ 28団体 (R1年度)
	ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件	2,607件	3,058件	3,410件		当初目標 1,000件 ↓ 3,500件 (R1年度)
主な事業	事業名	事業結果						
	魅力発信プロモーションビデオ制作費及びちはや姫広報活動費 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成28年度	市の魅力を市内外に広く発信するために、市宣伝大使「ちはや姫」を活用した広報活動等を行うとともに、市の認知度と好感度を向上させ、郷土愛の醸成、交流人口の増加、移住促進などを図ることを目的に、動画を制作しプロモーションを行った。動画は平成29年3月3日に配信を開始してから、多くの再生がされ、また各種メディアにも取り上げられるなどの反響があった。 また、ちはや姫のノベルティ等を制作するとともに、「宇治市宣伝大使ちはや姫」の着ぐるみを新たに製作し、各種イベントへ参加するなど、積極的な活動に取り組んだ。					

	事業名		事業結果	
主な事業	ふるさと応援施策推進事業	平成27年度	平成27年7月から宇治茶をはじめとしたお礼の特典を拡充し、12月からはふるさとチョイスと連携したクレジットでの支払いも可能とした。 ・件数1,403件 金額37,842千円	
		平成28年度	平成28年4月と10月にお礼の特典を拡充し、ふるさと応援寄付金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などの用途を拡充する宇治市ふるさと応援基金条例の改正を行った。 ・件数2,607件 金額63,095千円	
		平成29年度	平成29年4月と10月にお礼の特典を拡充し、ふるさと応援寄付金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などの用途を拡充した。 ・件数3,058件 金額77,948千円	
		平成30年度	平成30年10月にお礼の特典を拡充した。 ・件数3,410件 金額70,080千円	
	魅力発信プラットフォーム運営等事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの魅力を支える人及び団体の協働する場である宇治魅力発信プラットフォーム会議 4回 ・プラットフォーム会議を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に、市内高等学校の生徒が集う高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」を協働事業として立ち上げ、市長との意見交換等を行った。 ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 14作品 	
		平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治魅力発信プラットフォーム会議 3回 ・高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」18回 ・宇治橋通りわんさかフェスタにて足湯の設置 ・和服をテーマにしたファッションショー「宇治コレクション」の開催（高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストと同時開催）（京都文教大学ともいき「共生」フェスティバルにて開催） ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 20作品 	

	事業名	事業結果
主な事業	魅力発信プラットフォーム運営等事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治魅力発信プラットフォーム会議 4回 ・高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～」9回 ・京都大作戦にて冷たい足湯（足氷水）の設置 ・市民交流ロビーにて「『WA』和・輪の心」をテーマに高校生によるファッションショーと抹茶の接待を開催 ・天ヶ瀬ダム見学ツアーに参加し、意見交換 ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 27作品
		<p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生版宇治魅力発信プラットフォーム「めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～」5回 ・「宇治市くらしの便利帳」の表紙デザイン等に係るアイデアの提案 ・「宇治魅力発見ツアー」の企画・実施と、ツアーの際の天ヶ瀬ダムの観光利用に係る意見交換 ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 2作品
	受付証明等事務費 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	<p>平成29年度</p> <p>市の魅力の効果的な発信と婚姻出産の機運の醸成を図るため、京都文教大学との共同研究事業により学生と意見交換を行いながら、ご当地キャラを活用した本市独自のデザインによる婚姻届及び出生届を制作した。</p>
中間総括	<p>高校生版宇治魅力発信プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～」を引き続き開催するとともに、市の魅力発信に関する意見交換等の実施により、本市の魅力を発信・発信できた。</p> <p>ふるさと応援寄附件数は増加し続けており、重要業績評価指標の目標値の達成に向け、より積極的な広報活動を行うなどの取組を進める必要がある。</p> <p>今後もさらなる魅力発信に向けて、積極的な広報活動を行い、市民・事業者・各種団体・学校・市の協働で、魅力を発信する具体的な取組の充実を図るなど、積極的な事業展開を図る必要がある。</p>	

< 具体的施策 >

②観光振興事業

目標
本市には、世界遺産である宇治上神社や平等院をはじめ、全国に誇る高級茶の代名詞である宇治茶や源氏物語など、歴史や文化、自然といったたくさんの魅力があり、国内外から多くの観光客が訪れている。こうした資源を積極的に発信するとともに、放ち鶺鴒やスポーツなど新たな資源の創造と山間部にある炭山陶器の里やアクトパル宇治なども含めた市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る。さらに、京都府や近隣市町と連携した取組を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	観光客の宇治市満足度 (※) (飲食・お土産・景観等)	68~95% (H23年度)	—	55~93%	—	—	—	全て85%以上 (R4年度)
	観光客のリピーター割合 (※)	58% (H23年度)	—	56%	—	—	—	70% (R4年度)

※観光動向調査より

主な事業	事業名	事業結果
	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度

	事業名		事業結果	
主な事業	観光駐車場等対策事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度 ～ 平成30年度	(公社)宇治市観光協会をはじめ観光事業者と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、12ヶ所に誘導看板を設置するとともに、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。	
	観光案内所管理運営費 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度 平成28年度	JR宇治駅前観光案内所、近鉄大久保駅前観光案内所における管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託し、観光客や市民への情報発信や憩いの場の提供を行った。	
		平成29年度	JR宇治駅前観光案内所、近鉄大久保駅前観光案内所における管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託し、観光客や市民への情報発信や憩いの場の提供を行った。また、平成29年8月26日に京阪宇治駅前に観光案内所を開所し、上記2観光案内所と同様に管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託した。	
		平成30年度	JR宇治駅前観光案内所、近鉄大久保駅前観光案内所、京阪宇治駅前観光案内所における管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託し、観光客や市民への情報発信や憩いの場の提供を行った。	
	観光関連施設整備事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成27年度	観光トイレ等の観光施設の修繕を行った。	
		平成28年度	中宇治エリアに点在する観光トイレ等の観光施設の修繕を行った。また、JR宇治駅前、夢浮橋ひろば、天ヶ瀬吊橋前、宇治神社前の4ヶ所の公衆便所について、改修に係る設計を行った。	
		平成29年度	JR宇治駅前、天ヶ瀬吊橋前観光トイレの修繕や宇治橋西詰水飲み場の修繕等観光施設の修繕を行った。	
		平成30年度	JR宇治駅前観光案内所内の施設修繕を行った。	

	事業名		事業結果	
主な事業	観光振興計画推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行った。	
		平成28年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行った。さらに、宇治市内主要観光施設周辺や京都市内、各商店街において観光動向調査を実施し、また、台湾を対象としたインターネット調査も実施した。	
		平成29年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行い、前年度より実施していた観光動向調査も引き続き実施した。また、「宇治市観光振興計画後期アクションプラン策定委員会」を設置し、平成30年度より実施する後期アクションプランの策定を行った。	
		平成30年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行った。また、平成30年4月に策定した「宇治市観光振興計画後期アクションプラン」に基づく各種施策に取り組んだ。	
	観光活性化事業補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	花火大会代替イベント等宇治の観光振興に係るイベント等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。	
		平成28年度	花火大会代替イベントや鵜飼事業、観光宣伝事業等宇治の観光振興に係るイベント等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。	

主な事業	事業名	事業結果		
	観光活性化事業補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成29年度 平成30年度	鵜飼事業や観光宣伝事業等宇治の観光振興に係るイベント等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。	
	グラウンド・ゴルフ場整備事業	平成28年度	平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、平成29年秋頃の供用に向けて、造成工事及び張芝工事などに着手した。 整備概要 コース 1コース8ホール(合計3コース24ホール) 駐車場 43台(合計102台) その他 東屋1棟(合計2棟)	
		平成29年度	平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、張芝工事完了後、養生期間を経て平成29年9月16日に全面オープンした。	
		平成30年度	平成29年9月に全面オープンした後、利用者も増加傾向にある。 (H28: 4,860人、H29: 5,037人 H30: 5,663人)	
観光情報発信事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等広報印刷物の発行を行うとともに、市内Wi-Fi設置箇所拡充の促進、新たな観光資源としてアニメーションとの連携等を行った。 ・観光雑誌「ことりっぷ」でのブックインブック制作 発行部数: 10万部(雑誌発行部数) ・パンフレット「京都・宇治」増刷 発行部数: 9万部 ・英語版パンフレット「京都・宇治」発行部数: 7万部 ・Wi-Fi設置箇所: 40箇所(平成27年度末現在) ・宇治探訪マップ(アニメ「響け! ユーフォニアム」連携) 発行部数: 5万部		

	事業名	事業結果
<p>主な事業</p>	<p>観光情報発信事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)</p>	<p>宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行った。また、新たな観光資源であるアニメーションの活用や他団体との連携業務を行った。</p> <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語版パンフレット「京都・宇治」 発行部数：繁体字・簡体字各4万部 ・宇治市観光大使（10名）就任 11月14日 ・宇治市×京阪電車舞台めぐりマップ制作 （アニメ「響け！ユーフォニアム」連携） ・宇治市観光PR記事掲載「関西ウォーカー」 平成29年1月24日、3月7日発売号掲載 ・京ごよみ観光情報掲載 ・京都レストランウインターズスペシャル2017公式ガイドブック 観光情報掲載 ・香港トップセールスの実施 <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語版パンフレット「京都・宇治」増刷 ・宇治市観光大使の追加就任（3名） 9月22日 ・宇治市×京阪電車ユーフォニアム2コラボレーションフェスタ輝 け！吹奏楽部広報物作成 ・京都市認定通訳ガイドの育成 <p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語版パンフレット「京都・宇治」増刷 ・宇治市観光大使の追加就任（2名） ・宇治市×京阪電車ユーフォニアムコラボレーションフェスタ輝 け！吹奏楽部広報物作成 ・京都市認定通訳ガイドの育成

	事業名	事業結果	
主な事業	観光案内サイン整備事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域及び黄檗エリアにおいて、宇治市内観光サインの現況について調査を行った上で、宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催し、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインを取りまとめた。
		平成28年度	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域である中宇治地域及び三室戸寺周辺、萬福寺周辺エリアにおいて、観光案内サイン整備推進委員会の方針として「撤去」「改修」が示された宇治市以外が設置したサインについて、設置主体への説明と調整を図った。また、サイン整備後の維持管理手法等について、委員会において議論を行った。
		平成29年度	「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、新設2基、リノベーション5基、撤去11基の観光案内サイン整備を行った。
		平成30年度	「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、リノベーション6基、撤去9基の観光案内サイン整備を行った。
	観光地美化対策事業 (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度 ～ 平成30年度	宇治川周辺、萬福寺や宇治十帖古跡等の観光地の美化を図るため、定期的なゴミの回収、トイレ清掃、草刈等を行った。
中間総括	<p>観光プロモーションの実施やパンフレット等の発行など、宇治の観光情報を積極的に発信できた。また、ハード面においては、観光案内所の修繕、臨時駐車場の設置、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに沿った観光案内サインの整備などの取組を進め、観光客の受け入れ環境を整えることができた。</p> <p>今後は、新たな観光資源の創造に向けて放ち鶴飼の検討を進めるとともに、各取組を継続し、さらなる観光誘客を図る必要がある。</p>		

<具体的施策>

③観光インバウンド推進事業								
目標	東京オリンピック・パラリンピックを見据えつつ、外国人観光客のさらなる誘客を図るため、源氏物語ミュージアムをはじめ、宇治の魅力を世界に発信する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人	8,442人	11,803人	11,858人		当初目標 6,500人 ↓ 13,000人 (R1年度)
	源氏物語ミュージアムでの音声ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	3,671件	6,159件	8,182件	8,245件		当初目標 5,500件 ↓ 14,000件 (R1年度)
主な事業	事業名	事業結果						
	観光インバウンド推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載するとともに、中国本土にて放映されるケーブルTV番組「関西印象」での放映及び中国動画サイトでの配信を行った。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部 ・関西印象（中国全土で放映） 放送日：平成27年12月27日、平成28年1月2日、3日 動画再生：約27万アクセス（平成27年度末現在）					

事業名	事業結果	
	観光インバウンド推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成28年度
	平成29年度	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載した。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部
	平成30年度	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。地球の歩き方GOOD LUCK TRIP KANSAIに宇治情報を掲載した。 ・地球の歩き方GOOD LUCK TRIP KANSAI 150,000部
源氏物語ミュージアム広報活動事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	旅行情報誌等、計6誌に当館の広告を掲載した。新たに、東京メトロガイドに挿入される「京あれこれ」に広告を掲載し、関東方面からの誘客を図った。
	平成28年度	旅行情報誌等、計5誌に当館の広告を掲載した。引き続き関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を行い、関東方面からの誘客を図るほか、英文情報誌を2誌に拡大し、外国人観光客に向けた広報を強化した。
	平成29年度	訪日外国人観光客を対象に英文情報誌に広告を掲載するほか、新たに、夏休み期間の8月と訪日外国人観光客が増える1月に、JR京都駅構内改札口付近に、デジタルサイネージ広告を掲出し、来館者数の増加につなげた。

主な事業

	事業名	事業結果	
主な事業	源氏物語ミュージアム広報活動事業 （平成27年度地方創生加速化交付金対象） （平成29年度地方創生推進交付金対象） （平成30年度地方創生推進交付金対象）	平成30年度	年間を通して外国人観光客対象の情報誌に広告を掲載。さらに、9月のリニューアルオープン時には、外国人観光客対象の情報誌への広告を追加するほか、京阪主要三駅、WebDSP、JR京都駅構内のデジタルサイネージに広告を掲載した。また、外国人観光客が増加する1～2月に、外国人観光客対象の情報誌に広告を掲載した。4月からの新作アニメ上映に向けた広報と、国内外の観光客に向けた広報を、年間を通して計画的かつ効果的に展開した。
中間総括	海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。 今後も、引き続き、様々なメディアを利用した情報発信に努めるとともに、外国人観光客のさらなる誘客に向けて、東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら、外国人観光客に向けた広報を強化し、受け入れ環境の整備や海外向けセールスを拡充する必要がある。		

< 具体的施策 >

④宇治茶活用事業

目標
観光客をはじめ、来訪者等を「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、市民・茶業者とともに宇治茶でおもてなしするほか、宇治茶を巡るツアーの実施など、宇治茶を活用した事業により、宇治茶のブランド力の向上とさらなる観光誘客を図る。また、日本遺産に認定された「日本茶800年の歴史散歩」を活かしながら、京都府や近隣市町と連携し、より効果的な取組を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合(※)	15% (H23年度)	—	24%	—	—		30% (R4年度)
	宇治茶巡りガイドツアー参加者数	0人 (H26年度)	1,036人	847人	822人	513人		当初目標 1,000人 ↓ 1,200人 (R1年度)

※観光動向調査より

主な事業	事業名	事業結果		
	お茶の京都DMO協議会負担金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成28年度	京都府が中心となって設立された、お茶の京都DMO設立推進協議会の運営に参画し、積極的に関わることで、お茶の京都DMO(正式名称:一般社団法人京都山城地域振興社)が設立された。	
		平成29年度	お茶の京都DMOが設立され、府内12市町村エリアの観光市域づくりを進め、お茶の京都エリアを巡るタクシー周遊プランの販売やバスツアー、まち歩きガイドツアー等の企画・販売により、交流人口の拡大と宇治茶をはじめとする地域資源ブランドの振興を図った。	
		平成30年度	府内12市町村エリアの観光市域づくりを進め、お茶の京都エリアを巡るタクシー周遊プランの販売やバスツアー、体験プログラムの販売等により、交流人口の拡大と宇治茶をはじめとする地域資源ブランドの振興を図った。	

	事業名		事業結果	
主な事業	お茶の京都観光協議会負担金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成28年度	京都府及び山城広域振興局が中心となり、交流人口の拡大や地域経済の活性化など「お茶の京都」構想の実現に向け、府、市町村、観光振興団体、交通事業者等が連携することで、二次交通対策及び、お茶などの歴史・文化にあふれた様々なストーリー性やテーマ性を持つ山城の地域資源と連携した観光振興が図られた。	
	お茶の京都博開催事業費 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成29年度	京都府南部地域の12市町村を舞台に、宇治茶にまつわる様々なイベントを展開し、市内外の方に宇治茶を知り味わっていただく機会を設けることができたと同時に、ブランド力の発信にもつながった。	
	宇治茶宣伝事業補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	公益社団法人京都府茶業会議所への支援により、宇治市はもとより、遠方への宣伝活動ができ広く宇治茶ブランドを消費者に知っていただくことができ、宇治茶の普及・消費拡大に繋ぐことができた。 「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月2日（土）約5,000人	
		平成28年度	現在、リーフ茶の長期低迷からなかなか脱却できず、一般家庭での急須でお茶を飲む生活習慣が衰退してきている事が危惧されており、そのような中で、宇治茶をもっと飲んでもらうため、宇治茶の効能や美味しさ、素晴らしい伝統文化を消費者に伝えていき、宇治茶の一層の消費拡大を図ることができた。 「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月1日（日）約6,000人	
		平成29年度	平成27年度・28年度に引き続き、T-1グランプリや宇治茶ふれあい教室など児童向けの事業を行ない宇治茶文化の理解促進を図ることができた。 「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月2日（火）約3,500人	
平成30年度		公益社団法人京都府茶業会議所への支援により、宇治市はもとより、遠方への宣伝活動ができ、一層の宇治茶ブランドの普及、宇治茶の消費拡大を図ることができた。 「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月2日（水）約2,500人		

主な事業	事業名		事業結果	
	宇治茶普及宣伝事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>5月に宇治茶の最初の製造過程である手で摘む茶摘みを市民の方に実際に体験してもらう「市民茶摘みのつどい」を開催し、新茶の振る舞いも含め、参加者に宇治茶の良さを知ってもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 参加者 約400人 ・平成28年度 参加者 約400人 ・平成29年度 参加者 約450人 ・平成30年度 悪天候のため中止 	
	市営茶室管理運営事業 (茶室茶道体験等)	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 入席者数 21,632人 ・平成28年度 入席者数 21,329人 ・平成29年度 入席者数 24,800人 ・平成30年度 入席者数 23,354人 	
	宇治茶巡りガイドツアー事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 ツアー参加者 1,036人 ・平成28年度 ツアー参加者 847人 ・平成29年度 ツアー参加者 822人 ・平成30年度 ツアー参加者 513人 <p>平成30年度は、1日2回から午前1回の実施に変更した。</p>	

	事業名	事業結果
<p>主な事業</p>	<p>宇治茶おもてなし推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)</p>	<p>平成27年度</p> <p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年7月京都縦貫自動車道全線開通記念プレオープンイベント ・9月国民参加の森林づくりシンポジウム ・平成28年2月京あるきin東京2016～恋する京都ウィークス～3月渋谷ヒカリエプロモーション（鎧塚俊彦シェフ×宇治茶伝道師小山茂樹氏対談トークショー）日本旅行大宮支店前プロモーション ・宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を平成27年7月から約1ヶ月間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全5回実施）
	<p>(平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)</p>	<p>平成28年度</p> <p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年9月第24回京都観光プロモーションにて旅行会社向け碾玉PR ・10月京都駅JR東海ツアーズ前にて碾玉発売記念PR 10月関西産業観光博覧会（関西国際空港）にて碾玉PR ・11月宇治市観光協会（観光センター）にて碾玉試飲会 ・11月宇治市観光大使就任式（市役所）にて安田美沙子さんと碾玉乾杯 ・平成29年2月プロモーション会議京都（京都テルサ）にて旅行会社向け碾玉PRほか ・宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を7月から約2週間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全3回実施）

主な事業	事業名		事業結果	
	宇治茶おもてなし推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成29年度	<p>お茶の京都ターゲットイヤーに係るイベントを含む各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 お茶の京都 さくら茶会 碾玉PR ・7月 お茶の京都 日本遺産サミット 碾玉PR ・10月 お茶の京都 石清水八幡宮Chazz 碾玉PR ・平成30年3月 お茶の京都 テイクオフパーティー 碾玉PR ・宇治市役所1階市民交流ロビーにて、7月27日・8月15日の二日間、市内産水出し玉露の新茶が味わえる環境を提供した。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。(計4回実施) 	
		平成30年度	<p>お茶の京都ターゲットイヤーの盛り上げを継続させるため、各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月 アニメサミット @岐阜県大垣市 碾玉PR ・10月 南河内いちごの楽園プロジェクト 碾玉PR ・2月 宇治茶イベント電車 碾玉PR ・3月 宇治茶・山城ごちそうフェスタ 碾玉PR ・宇治市役所1階市民交流ロビーにて、7月31日・8月15日の二日間、市内産水出し玉露の新茶が味わえる環境を提供した。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。(計3回実施) 	

主な事業	事業名	事業結果
	高品質茶推進事業補助金 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度
平成28年度		平成27年度に引き続き、宇治茶製法の特色である「手摘み」・「覆下栽培」をすすめるとともに環境にやさしい茶生産を推進することができた。
平成29年度		平成27年度・28年度に引き続き、市内の茶生産者団体の高品質栽培における必要経費に対し、補助金を交付し、宇治市の伝統産業である宇治茶の生産振興を図ることができた。
平成30年度		引き続き、市内の茶生産組合に対し、茶の高品質栽培にかかる必要経費について補助金を交付した。 宇治市の伝統的な栽培技術や生産省力化などの推進によって、宇治茶の生産振興を図った。
茶・茶園品評会出品奨励費 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	近年、産地間競争が激しくなる中で、本市の特産である宇治茶の生産技術の改善と品質の向上を図るため、茶の特質を明らかにすることができる各種品評会の出品者へ奨励金、入賞者へ報奨金等を交付し、出品を奨励することができた。
	平成28年度	産地間競争に対抗するだけでなく、市内の茶生産者間においても生産技術を研鑽することができた。
	平成29年度	平成27年度・28年度に引き続き、出品を奨励し、市内の茶生産者の生産技術の改善を図るとともに、全国・関西茶品評会において、出品茶種ごとに審査成績得点が最優秀の市町村に対して贈られる産地賞受賞に向けて、出品を奨励することができた。

	事業名		事業結果	
	主な事業	茶・茶園品評会出品奨励費 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成30年度	本市の宇治茶の生産技術の改善と品質の向上を図るため、各種品評会の出品者へ奨励金、入賞者へ報奨金等を交付し、出品を奨励することができた。 平成30年度は、関西・全国茶品評会にて、宇治市が産地賞を受賞した。
宇治茶まつり事業への支援		平成27年度	茶祖並びに茶業先覚者を祀り宇治茶並びに観光の振興に資すると共に地域社会の発展に寄与することを目的とした宇治茶祭奉賛会の活動を支援することで、宇治茶と観光宇治の宣伝を強力に推進した。 ・「宇治茶まつり」：10月4日（日）約35,000人 (関西茶業振興大会消費イベントと併催)	
		平成28年度	会費を上げたり、運営形態の見直しなどしているが収支は厳しい中、支援により伝統的行催事をつつがなく行う事ができ、宇治茶並びに観光の振興に寄与した。 ・「宇治茶まつり」：10月2日（日）約12,000人	
		平成29年度	平成27年度・28年度に引き続き、宇治茶及び観光の振興に寄与していると同時に、お茶の京都ターゲットイヤーの盛り上げりを継続させることができた。 ・「宇治茶まつり」：10月1日（日）約10,000人	
		平成30年度	宇治茶及び観光の振興に寄与していると同時に、昨年度のお茶の京都ターゲットイヤーの盛り上げりを継続させることができた。 平成30年度は宇治茶祭奉賛会と消費イベントが併催され、例年を大きく上回る集客となった。 ・「宇治茶まつり」：10月7日（日）約41,000人	
中間総括	<p>「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づく各種事業の実施や市営茶室「対鳳庵」での宇治茶の提供により、宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。</p> <p>今後は、宇治茶ブランドの向上とさらなる観光誘客を図るため、事業効果を検証しながら、引き続き宇治茶を活用した事業を実施していく必要がある。さらに、「お茶の京都」構想に関する取組を、京都府やお茶の京都DMOをはじめとした関係団体と連携を図りながら、広域的な取組もあわせて引き続き推進していく必要がある。</p>			

< 具体的施策 >

⑤宇治茶ブランド化事業								
目標	市内産宇治茶のブランド化を進め、確固たるものとするこで、宇治茶はもとより本市のブランド力の向上を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合 (※)	15% (H23年度)	—	24%	—	—		30% (R4年度)
※観光動向調査より								
主な事業	事業名		事業結果					
	市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)		平成27年度	業務委託を行い、茶業に関する現状を把握するための各種調査を実施した。また、調査結果に基づき「市内産宇治茶」のブランディング戦略構築のための「研究会」を開催し、市内産宇治茶振興に向けた取組案や「碾玉」の活用方法についての提言を受けた。				
			平成28年度	平成27年度に市内産宇治茶のブランド化戦略のため開催した研究会で提言を受けた取組案について、具体的にリーフレットなどを活用した宇治茶の情報発信、平成28年10月に「碾玉」の発売・PR、「宇治碾茶」の商標登録に向けた認証制度導入のための検討会（全14回）などの取組を実施した。				
			平成29年度	市内産宇治茶のブランド力強化や「碾玉」の今後の方針について、アドバイザー・茶商・生産農家・市を交えて検討会を実施した。（1月15日実施） また、お茶の京都ターゲットイヤーに係るイベントを含む各種イベントにて、ブランド力強化のツールである碾玉の振る舞いなどを通して、PRを実施した。 平成29年4月：お茶の京都博さくら茶会 7月：お茶の京都博日本遺産サミット 9月：日本橋イベントスペース「宇治茶のおもてなし市」 10月：お茶の京都博石清水八幡宮Chazz 平成30年3月：お茶の京都博テイクオフパーティーアスピアやましろ				

	事業名		事業結果	
主な事業	市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成30年度		市内産宇治茶のブランド力強化のため、市外や、市内来訪者に対してPRを実施した。 平成30年9月：アニメサミット @岐阜県大垣市 碾玉PR 10月：南河内いちごの楽園プロジェクト 碾玉PR 平成31年2月：宇治茶イベント電車 碾玉PR 3月：宇治茶・山城ごちそうフェスタ 碾玉PR
	六次産業化推進事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	平成27年度 平成28年度		産業関連表による1次産業の流通拡大に向けた分析のため、農業関連へのアンケート調査、聞き取り調査にてデータ収集を行った。
	産業関連表策定事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	平成27年度		産業関連表策定のための基礎データの収集と市内事業所へのアンケート調査を行った。
		平成28年度		市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業関連表策定のための準備を行った。
		平成29年度		京都府産業関連表の公表を受けて、経済センサスをはじめとする各種統計資料から推計を行い、市内事業所へのアンケート結果も踏まえて、平成26年宇治市産業関連表を作成した。
産業戦略策定費	平成30年度		市内企業へのアンケート・ヒアリングの実施や産業関連表の活用、年4回実施した宇治市産業戦略策定会議により有識者の意見を聴取することにより、概ね10年先までを見据えた令和元年度～令和3年度までの3年間を計画期間とする「宇治市産業戦略」を策定した。	
中間総括	お茶の京都ターゲットイヤーに係る各種イベントを実施することなどを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。今後は、さらなる宇治ブランドの確立に向け、市内産茶葉の高品質保持への支援やイベント出展等での普及宣伝などの取組を推進していく必要がある。			

<具体的施策>

⑥源氏物語のまちづくり等事業

目標 本市は源氏物語宇治十帖の舞台となったまちであり、これまでから源氏物語のまちづくりを進めている。引き続き、源氏物語ミュージアムを中心に、源氏物語に関わる他市と連携した取組など、源氏物語を活かしたまちづくりを進め、本市のブランド力の向上を図る。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	源氏物語ミュージアム来館者数	118,377人 (H26年度)	112,372人	89,979人	91,136人	97,139人		

主な事業	事業名	事業結果
	企画展示 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度
平成28年度		毎回テーマを工夫し、他館との連携や関連事業を実施した。 ・源氏物語 かさねの色目 ―宇治十帖の世界― ・宇治市歴史資料館合同企画 なんといってもお茶は宇治 ・源氏ワンダーランド ―平安時代の人々とくらし― ・源氏物語の音楽 ・超絶技巧！銅版画の世界 ―描かれた京都― ・江戸時代の源氏物語 ―見立てとやつし―

事業名	事業結果	
	<p>企画展示 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)</p>	<p>平成29年度</p>
	<p>平成30年度</p>	<p>リニューアルオープン及び開館20周年記念の特別企画展を実施し、他館との連携を拡大し、関連事業を充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市歴史資料館合同企画 お茶と名所と宇治と ・源氏絵鑑帖パネル展 ・リニューアルオープン記念特別企画展 宇治の名所と旅する光氏 ・開館20周年記念特別企画展 源氏香 一そのデザインと広がりー ・源氏絵 〆小林等展
<p>源氏物語ミュージアムリニューアル事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)</p>	<p>平成28年度</p>	<p>「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」を策定した。</p>
	<p>平成29年度</p>	<p>「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」及び「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」に基づき、実施設計が完了した。</p>
	<p>平成30年度</p>	<p>予定通り、9月14日に「観光」と「生涯学習」の拠点としてリニューアルオープンした。また、新作オリジナルアニメが完成し、平成31年4月から公開している。</p>

主な事業

主な事業	事業名	事業結果
	宇治十帖スタンプラリー開催事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度 ~ 平成30年度
紫式部文学賞及び紫式部市民文化賞贈呈式及び記念イベント (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	11月15日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、約1,300人の観客に対して源氏物語の朗読及び瀬戸内寂聴源氏物語ミュージアム名誉館長と假屋崎省吾氏(華道家)による講演を行った。
	平成28年度	文学賞の受賞作品は平田俊子氏の「戯れ言の自由」に決定し、11月20日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式の前に源氏物語クイズが行われ、贈呈式のオープニングとして源氏物語の朗読を実施した。記念イベントでは、「”美と艶”の今昔~平安から平成まで~」と題し、井上章一氏(国際日本文化研究センター教授)による講演等を行った。

主な事業	事業名		事業結果	
	紫式部文学賞及び紫式部市民文化賞贈呈式及び記念イベント (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成29年度	文学賞の受賞作品は津村記久子氏の「浮遊霊ブラジル」に決定し、11月19日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式では、朗読サークルによる受賞作品の朗読を行い、記念イベントでは、茂山逸平氏(能楽師狂言方)による講演及び新作狂言「ひめあそい～源氏物語“葵上”より～」の上演を行った。	
		平成30年度	文学賞の受賞作品は水原紫苑氏の「えびすとれー」に決定し、9月24日に受賞作品発表・贈呈式を実施した。11月18日午前に市民文化賞受賞作品発表・贈呈式を、同日午後「大好きな源氏物語」と題して文学賞受賞者講演会を実施した。	
古典の日推進事業	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>平成20年11月1日に「源氏物語千年紀委員会」が開催した記念式典において、11月1日を「古典の日」とする宣言を行い、京都府・京都市・宇治市等で構成する古典の日推進委員会が法制化に向けた活動を行ってきた。その結果、平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。法律の施行後も恒常的な推進活動は継続しており、古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。</p> <p><平成27年度> ・古典の日推進委員会主催で、琳派400年記念 古典の日フォーラム2015を開催した。</p> <p><平成28年度> ・古典の日推進委員会主催で、「源氏物語」をメインテーマとした古典の日フォーラム2016を開催した。</p> <p><平成29年度> ・古典の日推進委員会主催で、「古典」をメインテーマとした古典の日五周年記念・古典の日フォーラム2017を開催した。</p> <p><平成30年度> ・古典の日推進委員会主催で、古典の日フォーラム2018を開催した。</p>		

中間総括

宇治十帖スタンプラリーなど、源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。

「観光」と「生涯学習」の拠点としてリニューアルオープンした源氏物語ミュージアムでは、他館から資料を借用し、リニューアルオープン及び開館20周年を記念した特別企画展をそれぞれ開催し、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。今後も魅力ある企画展を開催することで、新規来館者・再来館者の増加を目指し、本市のブランド力を一層向上させることが必要である。

< 具体的施策 >

⑦宇治の魅力の深化事業

目標

(仮) お茶と宇治のまち歴史公園の整備を進め、新たな観光資源を創出するとともに、宇治茶や宇治の歴史情報をあわせて発信することで、宇治の魅力の深掘りによる周遊観光の促進を図る。また、宇治の伝統文化を次代へ引き継ぐとともに、文化や歴史など多くの恵まれた資源の有機的な連携による、さらなる魅力の向上（深化）を目指す。

重要業績
評価指標
(KPI)

指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
重要文化的景観地区選定面積	228.5ha (H26年度)	228.5ha	228.5ha	228.5ha	228.5ha		520.0ha (R1年度)

主な事業

事業名	事業結果
文化的景観保護推進事業	<p>平成27年度</p> <p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。 修理事業としては茶商中村藤吉本店の表屋の壁塗り直し事業、旧丸五百貨店建物の屋根修理事業、旧京都府茶業会議所建物の修理設計を行った。 文化的景観整備計画書の印刷を行った。 全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、長野県千曲市で開催された全国大会を支援した。 市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2016を開催し50名の参加を得た。</p>
	<p>平成28年度</p> <p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。 修理事業としては旧京都府茶業会議所の耐震補強、外観・内部修理、屋根葺き替え修理事業を行った。 「宇治の文化的景観」修理報告書を刊行した。 全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、石川県金沢市で開催された全国大会を支援した。 市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2017を開催し50名の参加を得た。</p>

主な事業	事業名		事業結果	
	文化的景観保護推進事業	平成29年度	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を1回開催した。</p> <p>修理事業としては福文製茶場の屋根葺き替え、旧丸五百貨店の外壁修理事業を行った。また、岩井勘造商店製茶工場の改修に向けた調査を行った。</p> <p>全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、岐阜県岐阜市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2018を開催し50名の参加を得た。</p>	
		平成30年度	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を1回開催した。</p> <p>修理事業としては岩井勘造商店の茶工場修理工事に伴う調査・設計事業を行った。このほか台風第21号等の災害復旧工事として5件の工事を行った。</p> <p>全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、長崎県平戸市で開催された全国大会を支援した。</p>	
(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業	平成27年度	<p>PFI方式による歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、「実施方針の策定・公表」を6月に行い、また、9月に「特定事業の選定・公表」を行った。その後は、本事業の予算を確保するために必要な「債務負担行為」を議会に提案したが、議会の判断により、予算の確保はされなかった。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、1億9,460万円の交付が決定され、宇治市土地開発公社からの用地買戻しに充当した。一方史跡ゾーンでは、太閤堤築堤期を再現するAゾーンで遺構再現部基礎造成工事を行うとともに、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル86.5㎡を製作した。また太閤堤が埋没し茶園ができた江戸後期の景観再現を計画するBゾーンでは埋没期再現のための修景茶園の地形造成を行い、生涯学習センターでは太閤堤フォーラムを開催し120名の参加を得た。</p>		

主な事業	事業名		事業結果	
	(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業	平成28年度	<p>歴史公園交流ゾーンの整備については、従前計画の見直しに着手した結果、観光目的に特化する方向を軸に計画を見直すこととした。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、4億2,070万円の交付が決定され、用地買戻し等に充当した。史跡ゾーンでは、Aゾーンで石張り遺構の再現に使用するGRCパネル263.2㎡を設置した。一方Bゾーンでは、茶樹の植栽を体験する講座を実施し、また、石出しの発掘調査を行う中で、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学をするなど50名の参加を得た。</p>	
		平成29年度	<p>歴史公園交流ゾーンの整備については、本事業に係る民間事業者の募集を実施した結果、2グループから事業内容の提案書が提出された。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、1億7,940万円の交付が決定され、用地買戻しに充当した。史跡ゾーンでは、Aゾーンで、給排水施設の一部を整備し、再現遺構を見学するためのデッキを設置した。一方Bゾーンでは、石出し4の発掘調査を行う中で、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学するなど50名の参加を得た。</p>	
		平成30年度	<p>歴史公園交流ゾーンについては、本事業の実施を目的として設立された「株式会社宇治まちづくり創生ネットワーク」との間で事業契約を締結し、設計業務に着手した。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、3億9,040万円の交付が決定され、主に設計・建設業務に充当する。</p> <p>史跡ゾーンでは、Aゾーンで、園路・フェンス・街灯・植栽等の整備を行い、一方、Bゾーンでは、造成・排水設備・石出し等の整備に着手し始めた。</p>	

	事業名	事業結果
主な事業	宇治田楽まつり開催負担金 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして、実行委員会主催で開催した。</p> <p>＜平成27年度（10月17日開催）＞ 出演者数 約100人 観覧者数 約2,500人</p> <p>＜平成28年度（10月15日開催）＞ 出演者数 約120人 観覧者数 約2,500人</p> <p>平成27年度 ～ 平成30年度</p> <p>＜平成29年度＞ 今年度はお茶の京都博センターイベント・宇治茶博@文化と同日の10月21日、22日の両日開催を予定していたが、雨天のため、10月21日に宇治市文化会館大ホールで開催した。 出演者数 約100人 観覧者数 約800人</p> <p>＜平成30年度（10月20日開催）＞ 出演者数 約105人 観覧者数 約2,000人</p>
	宇治十帖スタンプラリー開催事業 (再掲)	(1) - ⑥掲載
	古典の日推進事業 (再掲)	(1) - ⑥掲載
中間総括	<p>(仮) お茶と宇治のまち歴史公園の整備において、歴史公園交流ゾーン的设计業務に着手し、史跡ゾーンについては、引き続き史跡の整備を進めた。 今後も、新たな観光資源の創出に取り組むとともに周遊観光の促進を図り、宇治田楽まつりなどの伝統文化を次世代へ引き継ぎ、宇治の魅力の向上(深化)に努める必要がある。</p>	

(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』～宇治への愛着から定住促進につなげる～

<p>目標</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政だけでなく市民自らが、魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、人口流出抑制を図る。</p>																																							
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="369 403 2074 743"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の宇治への愛着度（※）</td> <td>83% (H25年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>78.3%</td> <td></td> <td>90% (R1年度)</td> </tr> <tr> <td>市民の定住意向（※）</td> <td>61% (H25年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>57.6%</td> <td></td> <td>70% (R1年度)</td> </tr> <tr> <td>社会動態 (転入－転出数)</td> <td>-656人 (H26年)</td> <td>-889人</td> <td>-575人</td> <td>-318人</td> <td>-202人</td> <td></td> <td>0人 (R1年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※魅力発信に関するアンケート（平成25年度）、定住促進に関するアンケート（平成30年度）より</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値	市民の宇治への愛着度（※）	83% (H25年度)	—	—	—	78.3%		90% (R1年度)	市民の定住意向（※）	61% (H25年度)	—	—	—	57.6%		70% (R1年度)	社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-575人	-318人	-202人		0人 (R1年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値																																	
市民の宇治への愛着度（※）	83% (H25年度)	—	—	—	78.3%		90% (R1年度)																																	
市民の定住意向（※）	61% (H25年度)	—	—	—	57.6%		70% (R1年度)																																	
社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-575人	-318人	-202人		0人 (R1年)																																	
<p>中間総括</p>	<p>社会動態は年々減少幅が縮小しており、これまでの取組の効果が一定表れているが、いまだ転出超過である。人口流出抑制のためには、宇治への愛着の醸成が必要であるが、宇治市への愛着度や定住意向は減少しており、具体的施策に定める事業をより充実させる必要がある。</p>																																							

< 具体的施策 >

①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業																							
目標	<p>魅力あるまちとなるためには、行政だけでなく市民がまちに愛着を持ち、まちづくりに参画することが重要であると考えことから、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進する。あわせて、ふるさと宇治の創生には市民の主体的な関わりが何よりも重要であるため、これらを担う人材の発掘・育成に取り組む。</p>																						
重要業績評価指標 (KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数</td> <td>0件 (H26年度)</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td></td> <td>2件 (R1年度)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値	魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数	0件 (H26年度)	1件	2件	2件	1件		2件 (R1年度)						
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値																
魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数	0件 (H26年度)	1件	2件	2件	1件		2件 (R1年度)																
主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th colspan="2">事業結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">安全・安心まちづくり推進事業</td> <td>平成27年度</td> <td> <p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、宇治市第3次防犯推進計画を策定し、1,300部を作製した。</p> </td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td> <p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。</p> </td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td> <p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、「子ども110番のいえ」の拡充に向けた検討を行い、新たに市内公共施設42か所を登録し、宇治署と安全・安心なまちづくりの取組みを推進した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>							事業名	事業結果		安全・安心まちづくり推進事業	平成27年度	<p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、宇治市第3次防犯推進計画を策定し、1,300部を作製した。</p>	平成28年度	<p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。</p>	平成29年度	<p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、「子ども110番のいえ」の拡充に向けた検討を行い、新たに市内公共施設42か所を登録し、宇治署と安全・安心なまちづくりの取組みを推進した。</p>						
事業名	事業結果																						
安全・安心まちづくり推進事業	平成27年度	<p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、宇治市第3次防犯推進計画を策定し、1,300部を作製した。</p>																					
	平成28年度	<p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。</p>																					
	平成29年度	<p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、「子ども110番のいえ」の拡充に向けた検討を行い、新たに市内公共施設42か所を登録し、宇治署と安全・安心なまちづくりの取組みを推進した。</p>																					

	事業名		事業結果	
主な事業	安全・安心まちづくり推進事業	平成30年度	年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「街頭啓発活動」を実施し、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、10月に「防犯講演会」を開催した。そのほか、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。	
	市民と市長の対話ミーティング事業	平成27年度	それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。 ・開催状況	
			第9回	テーマ 若者の雇用支援について 日 時 5月30日（土）午後2時～4時 場 所 城南勤労者福祉会館
第10回			テーマ 中小企業振興について 日 時 9月5日（土）午後2時～3時40分 場 所 宇治市産業振興センター	
		平成28年度	第11回	テーマ 高校生のあふれるパワーで宇治市を元気に 日 時 12月5日（土）午後2時30分～4時 場 所 京都府立菟道高等学校
			第12回	テーマ 子育て支援の充実について 日 時 平成28年3月26日（土）午後2時～3時30分 場 所 親子広場「つむぎ」 宇治橋通り商店街内
			第13回	テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～ 日 時 6月4日（土）午後2時～4時30分 場 所 東宇治地域福祉センター
			第14回	テーマ 食育の推進で健康長寿日本一を 日 時 9月3日（土）午後1時～2時10分 場 所 南宇治コミュニティセンター

	事業名	事業結果
主な事業	市民と市長の対話ミーティング事業	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。 ・開催状況</p> <p>第15回 テーマ 宇治市公共施設について考えよう！ 日 時 5月29日（月）午後7時30分～8時45分 場 所 菟道ふれあいセンター</p> <p>第16回 テーマ 女性が活躍できる社会について 日 時 12月3日（日）午後1時～1時30分 場 所 ゆめりあ うじ</p> <p>第17回 テーマ こどもの明るい未来について考える 日 時 1月25日（木）午後7時30分～9時 場 所 宇治市生涯学習センター</p> <p>第18回 テーマ 宇治のお茶を守り、育てる 日 時 3月3日（土）午後3時～4時30分 場 所 宇治市観光センター</p>
	市民と市長の対話ミーティング事業	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。 ・開催状況</p> <p>第19回 テーマ 手話言語条例をきっかけに 障害者のコミュニケーションを考える 日 時 8月7日（火）午後1時30分～3時 場 所 宇治市総合福祉会館</p> <p>第20回 テーマ 魅力あるまち・宇治とは ～新成人が考える 住みたい、住み続けたいまち・宇治～ 日 時 9月14日（金）午前10時～11時30分 場 所 宇治市生涯学習センター</p> <p>第21回 テーマ 「源氏物語のまち宇治」の魅力 ～源氏物語ミュージアム20周年を迎えて～ 日 時 11月22日（木）午後2時00分～3時30分 場 所 源氏物語ミュージアム</p> <p>第22回 テーマ 商店・地域を盛り上げる商店会の活動について 日 時 平成31年3月17日（日）午前10時30分～11時10分 場 所 スーパーマツモト宇治小倉店</p>

	事業名	事業結果
<p>主な事業</p>	<p>文化祭開催事業</p>	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）が開催された。</p> <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月19日）来場者数 約2,400人 ・市民文化芸術祭（開催日10月24日、25日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約7,000人 ・同参加事業 参加者数 約750人、来場者数 約2,400人 <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月22日）来場者数 約2,600人 ・市民文化芸術祭（開催日10月29日、30日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約5,700人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,400人 <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月23日）来場者数 約2,300人 ・市民文化芸術祭（開催日10月28日、29日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約3,500人 ※フリーマーケットは雨天のため中止 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,100人 <p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月22日）来場者数 約2,300人 ・市民文化芸術祭（開催日10月27日、28日） 参加者数 約950人、来場者数 約5,500人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,100人

事業名		事業結果
主な事業	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 6月29日～7月3日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 7月2日、11月27日、平成28年3月18日（計3回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 3回開催 ・ 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 2件
	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月5日～9月9日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 5月25日、9月8日、平成29年3月22日（計3回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 1回開催 ・ 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 3件 ・ 平等院表参道まちづくり協議会認定 12月26日
	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 10月23日～10月27日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 8月3日、10月24日（計2回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 1回開催 ・ 炭山地区まちづくり協議会認定 9月20日

	事業名	事業結果
主な事業	まちづくり活動支援事業	<p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 10月1日～10月5日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・うじ井戸端会議 開催日 7月19日、10月4日、平成31年2月4日（計3回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・宇治市まちづくり審議会 2回開催 ・宇治市まちづくり審議会部会（JR部会） 1回開催 ・宇治市まちづくり審議会景観部会 1回開催 ・認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 1件 活動費助成件数 0件
	国際交流事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	<p>平成27年度</p> <p>ヌワラエリヤ市写真展の開催、咸陽市との小学生文通事業、カムループス市への公式訪問団の来訪と中学生訪問団の派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●咸陽市交流促進費…670千円 <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市公式訪問団の派遣 行政訪問団員：4人（11月16日～11月20日） 市民訪問団員に随行の行政訪問団員：1人 （11月16日～11月23日） ●カムループス市交流促進費…6,013千円 <ul style="list-style-type: none"> ・カムループス市公式訪問団来訪：17人（10月15日～10月19日） ・市中学生訪問団の派遣（7月24日～7月30日） 市内在住の中学生：12人 引率者（市職員・中学校教諭）：2人 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣：3人 （自費留学生を含む）

	事業名	事業結果
<p>主な事業</p>	<p>国際交流事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)</p>	<p>平成28年度</p> <p>ヌワラエリヤ市からの公式訪問団の来訪、写真展の開催、咸陽市からの公式訪問団の来訪、小学生文通事業、カムループス市への公式訪問団と中学生訪問団の派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●咸陽市交流促進費…513千円 <ul style="list-style-type: none"> ・咸陽市公式訪問団来訪：3人（7月31日～8月2日） ●ヌワラエリヤ市交流促進費…800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ヌワラエリヤ市公式訪問団来訪：6人（5月8日～5月11日） ●カムループス市交流促進費…5,429千円 <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市公式訪問団の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 行政訪問団員：4人（6月30日～7月6日） 市民訪問団員に随行の行政訪問団員：1人（6月30日～7月8日） ・市中学生訪問団の派遣（7月22日～7月28日） <ul style="list-style-type: none"> 市内在住の中学生：12人 引率者（市職員・中学校教諭）：2人 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣：3人 （自費留学生を含む）
		<p>平成29年度</p> <p>友好都市3市の写真展の開催、咸陽市との小学生文通事業、トンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣及びトンプソン・リバーズ大学研修生の受入などにより、友好都市との交流を深めた。また、ヌワラエリヤ市への公式訪問団派遣再開等を検討するため調査員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●咸陽市交流促進費…4千円 ●ヌワラエリヤ市交流促進費…1,137千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ヌワラエリヤ市調査団派遣：7月3日～7月7日 ●カムループス市交流促進費…2,472千円 <ul style="list-style-type: none"> ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣：2人 ・トンプソン・リバーズ大学研修生の受入：28人（引率者含む）

	事業名	事業結果
主な事業	国際交流事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成30年度 ヌワラエリヤ市からの公式訪問団の来訪、咸陽市との小学生文通事業、カムループス市への中学生訪問団の派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。 ●咸陽市交流促進費…70千円 ●ヌワラエリヤ市交流促進費…576千円 ・ヌワラエリヤ市公式訪問団来訪：5人（10月17日～10月18日） ●カムループス市交流促進費…4,377千円 ・市中学生訪問団の派遣（7月27日～8月2日） 市内在住の中学生：12人 引率者（市職員・中学校教諭）：2人 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣：2人
	魅力発信プラットフォーム運営等事業 (再掲)	(1) - ①掲載
中間総括	<p>市民と市長の対話ミーティング事業では、各分野で活動している市民と活発な議論を行い、市民参画を図ることで市政への反映に向けた取組をすることができた。さらに、まちづくり活動への支援や防犯推進組織の活動支援等の取組により、地域住民が参加した自主的な防犯活動の推進等を行うことができた。</p> <p>引き続き、市民がまちへの愛着を持ってまちづくりへ参画・協働することにより、ふるさと宇治の創生を推進していく必要がある。</p>	

< 具体的施策 >

②宇治への愛着醸成事業

目標 宇治の子どもが宇治の魅力を知り・実感することで宇治への愛着を深めることをはじめ、魅力の再認識を通じて、すべての市民の宇治への愛着を深め、定住の促進を図る。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	市民の定住意向 (※)	61% (H25年度)	—	—	—	57.6%		70% (R1年度)
	市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	6.7時間	4.1時間	6.0時間		当初目標 4時間 ↓ 5時間 (R1年度)

※魅力発信に関するアンケート（平成25年度）、定住促進に関するアンケート（平成30年度）より

主な事業	事業名	事業結果	
	市民観光デイ事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成27年度	市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、宇治上神社の夜間ライトアップ、宇治上神社拝殿での宇治市産抹茶による接待及び源氏物語ミュージアム展示ゾーンの夜間開館を行った。 ・宇治上神社拝殿での市内産抹茶の接待 日時：9月26日 午後6時30分～午後8時30分 定員：100組200人 応募数：393件
		平成28年度	市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、萬福寺での座禅及び煎茶道の体験を実施した。 ・萬福寺拝観・座禅体験及び市内産煎茶の接待 日時：11月19日 午後1時～午後5時 定員：100組200人 応募数：215件

	事業名		事業結果	
	主な事業	保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業		平成27年度 ～ 平成30年度
「宇治学」推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)		平成27年度	<p>本物の宇治茶を味わせるとともに、宇治で育ち宇治の将来を担う本市の児童生徒に宇治茶とおもてなしの心を培う学習を進められるよう、各小学校に抹茶碗・抹茶等を「宇治茶スタートセット」として配布し、市立全小学校第3学年で抹茶体験授業を実施した。</p> <p>各校の「宇治学」推進への支援を目的に、全小中学校で「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」のコンセプトのもと、共通して学ぶ内容を各学年の重点単元として再構築し具体化するとともに、各小中学校で実施する「宇治学」学習がより一層充実したものとなるよう、「宇治学」副読本の作成を推進した。</p>	
		平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生、6年生で宇治の特色や課題等をテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付 (テーマ) 小学校3年生・・・宇治茶のステキをつたえよう 小学校6年生・・・「ふるさと宇治」の魅力大発信 ・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施 	
		平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生、中学校1年生(7年生)で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付 (テーマ) 小学校4年生・・・発見!!「ふるさと宇治」の自然を伝えよう 中学校1年生・・・命そして「ふるさと宇治」を守る ～私たち中学生としてできること～ ・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施 	

	事業名	事業結果
主な事業	「宇治学」推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成30年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校5年生、中学校2・3年生(8・9年生)で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方ができるように副読本及び指導の手引きを作成及び配付(テーマ) <ul style="list-style-type: none"> 小学校5年生・・・「ふるさと宇治」をすべての人にやさしいまちに 中学校2年生・・・「ふるさと宇治」と生きる ～これからの自分の生き方を考える～ 中学校3年生・・・「ふるさと宇治」の未来 ～私たちができること～ ・ 市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施
	「宇治学」宇治の魅力体験支援事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成28年度～平成30年度 <p>宇治学(総合的な学習の時間)の学習において、市立小学校第6学年児童が、宇治の魅力を知り体感することで宇治への愛着を深めるため、世界遺産の平等院、宇治上神社などの史跡を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度 約1,750人が体験 ・ 平成29年度 約1,700人が体験 ・ 平成30年度 約1,700人が体験
	魅力発信プラットフォーム運営等事業(再掲)	(1) - ①掲載
	ふるさと応援施策推進事業(再掲)	(1) - ①掲載
中間総括	<p>子どもたちに、地域の一員としての自覚を持って「ふるさと宇治」を愛し、より良い宇治を築こうとする自主的、実践的態度を養うため、「宇治学」(総合的な学習の時間)を展開できる副読本及び指導の手引を3つの学年で作成することができた。これにより、小学3年生から中学3年生まで、すべての対象学年において宇治を学ぶことができる環境を整備した。今後は、子どもたちがより一層、宇治について学び、考えることで、宇治への愛着を深めるための事業を充実させる必要がある。</p>	

< 具体的施策 >

③ 誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業

目標	誰もが生き生きと暮らすことはまちの活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を図り、健康長寿日本一に向けた取組を推進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	市民の定住意向 (※)	61% (H25年度)	—	—	—	57.6%		70% (R1年度)
※魅力発信に関するアンケート (平成25年度)、定住促進に関するアンケート (平成30年度) より								
主な事業	事業名		事業結果					
	健康づくり・食育推進事業		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った (協議会開催回数2回)。 関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 京都文教短期大学、(株)典座、宇治市農産物直売会あさぎり市、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「糖尿病予防のランチメニュー」の販売 (6日間360食) 				
			平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った (協議会開催回数2回)。 関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 京都文教短期大学、(株)典座、宇治市農産物直売会あさぎり市、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「メタボリックシンドローム予防のランチメニュー」の販売 (5日間230食)。 				

	事業名		事業結果																								
主な事業	健康づくり・食育推進事業	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った（協議会開催回数2回）。 ・関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 ・京都文教短期大学、（株）典座、宇治市農産物直売会あさぎり市、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「脂質異常症予防のランチメニュー」の販売（3日間180食）。 ・毎月19日の食育の日に「健康メニュー」を販売（毎月30食）。 ・関係課、関係団体、企業と連携した健康づくり・食育の取組18事例実施。 																								
		平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った（協議会開催回数2回）。 ・関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 ・京都文教短期大学、（株）典座、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「適塩ランチメニュー」の販売（3日間200食）。 ・毎月19日の食育の日に「健康メニュー」を販売（毎月30食）。 ・市内小学校への食育出前講座（3年生2クラス、4年生2クラス、5年生4クラス、6年生3クラス） 																								
	初期認知症総合相談支援事業	平成27年度	<p>お元気チェックリスト回答者を訪問し、現状把握と早期支援を行った。また認知症の人やその家族や地域の人に対し、居場所・生きがいつくり・ピアサポート・認知症に関する正しい普及啓発の場として、認知症対応型カフェ（れもんカフェ）を行った。</p> <p>認知症初期集中支援チームの実施や認知症講演会、認知症フォーラムin宇治を行った。</p> <p><平成27年度></p> <table border="0"> <tr> <td>お元気チェックリスト該当者訪問</td> <td>訪問延べ人数</td> <td>625人</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型カフェ（れもんカフェ）</td> <td>参加延べ人数</td> <td>876人</td> </tr> <tr> <td>初期集中支援チーム員会議</td> <td></td> <td>70回</td> </tr> <tr> <td>認知症初期集中支援チーム対応事例数</td> <td></td> <td>54事例</td> </tr> <tr> <td>認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数</td> <td></td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数</td> <td></td> <td>1,708人</td> </tr> <tr> <td>認知症講演会</td> <td>参加者数</td> <td>162人</td> </tr> <tr> <td>認知症フォーラムin宇治</td> <td>参加者数</td> <td>406人</td> </tr> </table>		お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	625人	認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	876人	初期集中支援チーム員会議		70回	認知症初期集中支援チーム対応事例数		54事例	認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		101人	認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		1,708人	認知症講演会	参加者数	162人	認知症フォーラムin宇治	参加者数
お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	625人																									
認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	876人																									
初期集中支援チーム員会議		70回																									
認知症初期集中支援チーム対応事例数		54事例																									
認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		101人																									
認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		1,708人																									
認知症講演会	参加者数	162人																									
認知症フォーラムin宇治	参加者数	406人																									

	事業名	事業結果
主な事業	初期認知症総合相談支援事業	<p><平成28年度></p> <p>お元気チェックリスト該当者訪問 訪問延べ人数 703人 認知症対応型カフェ（れもんカフェ）参加延べ人数 780人 初期集中支援チーム員会議 60回 認知症初期集中支援チーム対応事例数 60事例 認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 91人 認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 3,835人 認知症講演会 参加者数 150人 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人</p> <p><平成29年度></p> <p>お元気チェックリスト該当者訪問 訪問延べ人数 439人 認知症対応型カフェ（れもんカフェ）参加延べ人数 879人 初期集中支援チーム員会議 48回 認知症初期集中支援チーム対応事例数 57事例 認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 47人 認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 2,240人 認知症講演会 参加者数 80人 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人</p> <p><平成30年度></p> <p>お元気チェックリスト該当者訪問 訪問延べ人数 495人 認知症対応型カフェ（れもんカフェ）参加延べ人数 725人 初期集中支援チーム員会議 48回 認知症初期集中支援チーム対応事例数 36事例 認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 44人 認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 1,781人 認知症講演会 参加者数 100人 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人</p>

	事業名	事業結果
主な事業	認知症の人にやさしいまち・うじの推進事業	<p>宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”（Leomon-Aid）を設立し、れもねいど推進協議会を設置した。 市内を活動拠点とする事業者に広くれもねいどの趣旨に賛同を求め、れもねいどへの加盟登録を促進した。 認知症の正しい理解を持ったれもねいだー（ボランティア）の養成や、活動支援を行った。 れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 31人 れもねいど加盟団体 16団体</p>
	認知症の人にやさしいまち・うじの推進事業	<p>市内を活動拠点とする事業者に広くれもねいどの趣旨に賛同を求め、れもねいどへの加盟登録を促進した。 認知症の正しい理解を持ったれもねいだー（ボランティア）の養成や、活動支援を行った。</p> <p><平成28年度> れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 66人 れもねいど加盟団体 累計団体数 34団体</p> <p><平成29年度> れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 90人 れもねいど加盟団体 46団体</p> <p><平成30年度> れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 107人 れもねいど加盟団体 56団体</p>

事業名	事業結果	
	年度	内容
心身障害児通園事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>障害児通園（児童デイサービス）事業について補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童デイサービス <ul style="list-style-type: none"> 児童デイころぼっくる（アジュール舎） 宇治福祉園（宇治福祉園） かおり之園（かおり福祉会） 子ども発達サポートセンターあゆみ園（不動園） <p>待機児親子サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 待機児なし ・平成28年度 待機児なし ・平成29年度 待機児なし ・平成30年度 待機児なし
	平成27年度	<p>介護が必要な方や身体に障害のある方など、ごみ収集場所へのごみ出しが困難な家庭に対して、玄関先での戸別ごみ収集や、希望者の声掛けを行う「ふれあい収集」を平成22年度から実施。平成27年度末時点で416世帯を収集対象としている。</p>
ふれあい収集（ごみ収集福祉サービス）	平成28年度	平成28年度末時点で、410世帯を収集対象としている。
	平成29年度	平成29年度末時点で、401世帯を収集対象としている。（なお、平成29年5月1日より、精神障害者保健福祉手帳1級と療育手帳Aの所持者を新たな対象者として拡大）
	平成30年度	平成30年度末時点で、385世帯を収集対象としている。

主な事業

	事業名	事業結果																								
主な事業	各種介護予防事業	<p>平成27年度</p> <p>一次予防事業は、一次予防事業対象者に対し、重点項目（口腔機能向上・栄養改善・運動機能向上）の普及啓発を行う教室。 二次予防事業は、二次予防事業対象者に対し、高齢者の介護予防に資する知識を習得し、介護予防に努める教室。</p> <p><一次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>ためしてナッ得！健康のすすめ</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>脳活性化教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>4,393人</td> </tr> <tr> <td>あたまイキイキ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>2,112人</td> </tr> <tr> <td>パワーリハビリ事業</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>9,706人</td> </tr> <tr> <td>B型リハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>6,421人</td> </tr> </table> <p><二次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>パワーリハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>2,911人</td> </tr> <tr> <td>足しっかり体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>3,081人</td> </tr> <tr> <td>足腰改善体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>7,562人</td> </tr> </table>	ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	101人	脳活性化教室	参加者延べ人数	4,393人	あたまイキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人	パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	9,706人	B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,421人	パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	2,911人	足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,081人	足腰改善体操教室	参加者延べ人数	7,562人
	ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	101人																							
脳活性化教室	参加者延べ人数	4,393人																								
あたまイキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人																								
パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	9,706人																								
B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,421人																								
パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	2,911人																								
足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,081人																								
足腰改善体操教室	参加者延べ人数	7,562人																								
	<p>平成28年度</p> <p>一次予防事業は、一次予防事業対象者に対し、重点項目（口腔機能向上・栄養改善・運動機能向上）の普及啓発を行う教室。 二次予防事業は、二次予防事業対象者に対し、高齢者の介護予防に資する知識を習得し、介護予防に努める教室。</p> <p><一次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>ためしてナッ得！健康のすすめ</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>脳活性化教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>5,068人</td> </tr> <tr> <td>あたまイキイキ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>2,112人</td> </tr> <tr> <td>パワーリハビリ事業</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>10,839人</td> </tr> <tr> <td>B型リハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>6,448人</td> </tr> </table> <p><二次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>パワーリハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>3,110人</td> </tr> <tr> <td>足しっかり体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>3,131人</td> </tr> <tr> <td>足腰改善体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>9,980人</td> </tr> </table>	ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	108人	脳活性化教室	参加者延べ人数	5,068人	あたまイキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人	パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	10,839人	B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,448人	パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	3,110人	足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,131人	足腰改善体操教室	参加者延べ人数	9,980人	
ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	108人																								
脳活性化教室	参加者延べ人数	5,068人																								
あたまイキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人																								
パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	10,839人																								
B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,448人																								
パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	3,110人																								
足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,131人																								
足腰改善体操教室	参加者延べ人数	9,980人																								

	事業名	事業結果
主な事業	各種介護予防事業	<p>介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者を年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、地域において、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを目指すとともに、対象者が生活機能の改善に向けての知識・技術・意欲の獲得を目指す教室をする事業。</p> <p> パワリハトレーニング教室（運動機能向上）参加者延べ人数 3,236人 スロートレーニング教室（運動機能向上）参加者延べ人数 2,853人 まるごとトレーニング教室（運動・栄養・口腔・認知機能向上）参加者延べ人数 9,741人 ためしてナッ得！健康のすすめ（運動・栄養・口腔機能向上）参加者延べ人数 123人 脳活性化教室（認知機能向上）参加者延べ人数 5,773人 あたまイキイキ教室（認知機能向上）参加者延べ人数 2,112人 セルフパワリハ（運動機能向上）参加者延べ人数10,404人 B型リハビリ教室（レクリエーション）参加者延べ人数 6,334人 </p>
		<p>平成30年度</p> <p>高齢者を年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、地域において、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを目指すとともに、対象者が生活機能の改善に向けての知識・技術・意欲の獲得を目指す教室をする事業。</p> <p> パワリハトレーニング教室（運動機能向上）参加者延べ人数 3,822人 スロートレーニング教室（運動機能向上）参加者延べ人数 2,898人 まるごとトレーニング教室（運動・栄養・口腔・認知機能向上）参加者延べ人数 9,167人 ためしてナッ得！健康のすすめ（運動・栄養・口腔機能向上）参加者延べ人数 85人 脳活性化教室（認知機能向上）参加者延べ人数 5,868人 あたまイキイキ教室（認知機能向上）参加者延べ人数 2,112人 セルフパワリハ（運動機能向上）参加者延べ人数11,854人 B型リハビリ教室（レクリエーション）参加者延べ人数 6,271人 </p>

主な事業	事業名	事業結果
	鳳凰大学事業	平成27年度 ～ 平成30年度
高齢者アカデミーの実施	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <p><平成27年度> ・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 合計57人</p> <p><平成28年度> ※対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げて実施 ・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 合計80人</p> <p><平成29年度> ・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 5期生37人 合計117人</p> <p><平成30年度> ・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 5期生37人 6期生13人 合計130人</p>

中間総括

健康づくり・食育推進事業や認知症の人にやさしいまち・うじの推進により、時代に応じた健康づくりと食育の一体的な推進や認知症の正しい知識の普及・啓発に努め、さらに鳳凰大学や高齢者アカデミーの実施により、高齢者の健康づくり、生きがいづくりや地域づくりを進めることができた

今後は、認知症の人にやさしいまち・うじの推進などに引き続き取り組むとともに、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進に向けて、さらなる事業の充実を図る必要がある。

< 具体的施策 >

④多世代交流促進事業								
目標	地域コミュニティが希薄化するなか、世代間の交流が少なくなっている。多世代交流により、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいの創出、若い世代への良き伝統の継承につなげ、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	市民の地域行事への参加割合 (※)	24.9% (H25年度)	—	—	—	21.1%		30% (R1年度)
※魅力発信に関するアンケート（平成25年度）、定住促進に関するアンケート（平成30年度）より								
主な事業	事業名		事業結果					
	高齢者アカデミーの実施（再掲）		（2）－③掲載					
中間総括	高齢者アカデミーについては、より幅広く受講者を募ることの効果と事業の定着が図られていることにより高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。今後は、研究の成果をより広く市民に伝える方法を検討するとともに、卒業後に地域社会に貢献する活動につなげられるよう情報提供等を実施していく。							

(3) 『まちの魅力を高める都市基盤の整備』 ～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～

<p>目標</p>	<p>人や物の交流が活発に行われることがまちの魅力を高める条件であり、そのためには都市基盤の整備が不可欠となる。今後の新名神高速道路の開通、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業などにより、交通環境が大きく変化することが見込まれる。これらを見据えて、宇治のまちの発展を継続させるために真に必要な都市基盤の整備を推進する。 また、通勤・通学者による昼間人口はもとより、観光客をはじめ、さまざまな目的で本市を訪れる人（滞在人口）を増やし、人・物の交流や地域コミュニティの基盤強化により、まちの活性化を図る。</p>																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="353 502 2063 746"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滞在人口率</td> <td>0.89倍 (H26年)</td> <td>0.88倍</td> <td>0.87倍</td> <td>0.86倍</td> <td>0.86倍 (平成30年8月 までの実績)</td> <td></td> <td>0.93倍 (R1年)</td> </tr> <tr> <td>昼間人口比率</td> <td>87.8% (H22年)</td> <td>88.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>90.0% (R2年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※滞在人口率＝平日14時の滞在人口の平均値÷国勢調査人口（夜間人口）</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値	滞在人口率	0.89倍 (H26年)	0.88倍	0.87倍	0.86倍	0.86倍 (平成30年8月 までの実績)		0.93倍 (R1年)	昼間人口比率	87.8% (H22年)	88.1%	—	—	—		90.0% (R2年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値																									
滞在人口率	0.89倍 (H26年)	0.88倍	0.87倍	0.86倍	0.86倍 (平成30年8月 までの実績)		0.93倍 (R1年)																									
昼間人口比率	87.8% (H22年)	88.1%	—	—	—		90.0% (R2年)																									
<p>中間総括</p>	<p>周遊できる都市基盤及び交通基盤などのハード施策と地域コミュニティの活性化などのソフト施策により、まちの魅力を感じることに繋がっていくことが必要であり、各種取組を実施しているものの滞在人口率は減少しているため、周遊観光の現状把握と分析を実施し、効果的な基盤整備を進める必要がある。</p>																															

< 具体的施策 >

①まち巡りを仕掛ける基盤づくり								
目標	<p>(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡の整備をはじめ、回遊型の都市基盤の整備を進めます。また、世界文化遺産等の歴史・文化資源等を活かして、楽しく歩ける宇治のまちを実現する仕組みを検討し、各商店街の取組とも協働しながら、観光客の滞在時間の延長を図るとともに、市民が楽しく歩くことで健康寿命を延伸し、健康長寿日本一を目指す。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	交流人口 (観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人	5,398,510人		7,500,000人 (R1年)
主な事業	事業名	事業結果						
	空き家 (古民家) の活用研究事業	平成27年度	宇治のまちなみを魅力的なものにしていくためには伝統的家屋の活用や継承が重要であることから、伝統的家屋の活用の法的課題について検証を行った。					
		平成28年度	宇治のまちなみを魅力的なものにしていくためには伝統的家屋の活用や継承が重要であることから、中宇治地域における伝統的家屋の現状を調査・分析し、その保存・活用の可能性について先進事例の調査を行った。					
		平成29年度	平成28年度に現状調査を実施した中宇治地域の伝統的木造家屋の所有者の調査を行った。					
		平成30年度	平成29年度から引続き、中宇治地域の伝統的家屋の所有者を調査するとともに、今年度に策定した宇治市空き家等対策計画において景観形成助成金の拡充について検討していくこととした。					

主な事業	事業名	事業結果	
	名勝指定検討事業	平成28年度	市内の未指定の景勝地から保全すべき景勝地を指定していくため、宇治の名勝地現状基本調査を実施し、個別名勝地についての俯瞰写真撮影や関連文献や資料の収集などを行った。
		平成29年度	「宇治山」及び「松殿山荘庭園」の名勝指定に向け、資料調査、測量調査を行った。
		平成30年度	名勝「宇治山」は平成30年10月1日に指定された。また松殿山荘庭園の名勝指定に向け、測量調査を行った。
歴史資料館出前展示事業	平成27年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治市歴史資料館の30年 特別展ポスター展」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「昭和30年頃の宇治」 <p>開催日数：合計75日 観覧者数：合計866人</p>	
	平成28年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵はがき大流行－100年前の風景－」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「今年で奈良線は開通121年になります。」 <p>開催日数：合計58日 観覧者数：合計862人</p>	
	平成29年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明治のお茶づくり」（イラスト） ・「巨椋池歴史絵巻」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「ちょっと昔の街と暮らし 昭和の子どもたち」 ・「3月1日は宇治市の誕生日－宇治市の戦後史－」 <p>開催日数：合計127日 観覧者数：合計1,864人</p>	

	事業名		事業結果	
主な事業	歴史資料館出前展示事業	平成30年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明治のお茶づくり」（製茶園、製茶風景写真） ・「よみがえる明治の日本 第一弾」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「よみがえる明治の日本 第二弾」 ・「50年前の宇治市 1969・昭和44年」 <p>開催日数：合計139日 観覧者数：合計1,879人</p>	
	中小企業振興対策事業（商店街活性化施策） （平成28年度地方創生推進交付金対象） （平成29年度地方創生推進交付金対象） （平成30年度地方創生推進交付金対象）	平成27年度	<p>商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、10件8団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化対策事業 5件 2,931千円 ・情報化対策事業 5件 1,928千円 	
		平成28年度	<p>商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、14件11団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化対策事業 10件 3,960千円 ・情報化対策事業 4件 1,369千円 	
		平成29年度	<p>商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、12件9団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化対策事業 8件 3,024千円 ・情報化対策事業 4件 1,643千円 	
		平成30年度	<p>商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、11件8団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化対策事業 9件 3,862千円 ・情報化対策事業 2件 884千円 	
	文化財指定推進事業	平成28年度	<p>国宝の平等院鳳凰堂中堂壁画の修理、萬福寺の重要文化財聯（れん）の修理事業をはじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の12件に補助を行った。</p> <p>また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺境内の獅子林院災害復旧工事に補助を行った。</p> <p>このほか、二子山古墳の史跡指定に向け用地測量を実施し、また二子山古墳フォーラムを開催し207人の市民が参加した。</p>	

	事業名		事業結果		
	主な事業	文化財指定推進事業	平成29年度	<p>萬福寺の重要文化財聯（れん）の修理事業・法堂ほか5棟保存修理強化対策事業はじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の18件に補助を行った。</p> <p>また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺境内の獅子林院災害復旧工事に補助を行った。</p>	
平成30年度			<p>萬福寺法堂ほか5棟保存修理強化対策事業・聯修理事業、平等院鳳凰堂中堂保存修理強化対策事業をはじめ、所有者の修理・維持等の事業18件に補助を行った。</p>		
宇治橋周辺地区道路整備事業		平成28年度	<p>観光客等の周遊経路となっている宇治川左岸の市道宇治233号線において、景観に配慮した道路整備を行うため、道路の測量・詳細設計業務に着手し、関係機関等と協議を行った。</p>		
		平成29年度	<p>市道宇治233号線において、一部区間のフットライトの整備に着手した。</p>		
		平成30年度	<p>市道宇治233号線において、フットライト設置や舗装改修の工事が完了した。また、世界遺産の平等院に隣接する市道宇治228号線では、無電柱化の設計に着手した。</p>		
観光案内サイン整備事業（再掲）		(1) - ②掲載			
(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業（再掲）		(1) - ⑦掲載			
文化的景観保護推進事業（再掲）		(1) - ⑦掲載			
中間総括		<p>歴史・観光資源等を活かした事業や商店街等の振興に係る事業に取り組み、観光誘客に向けて取り組んだ。今後は、新たな歴史資源や空き家を活かした取組のさらなる検討が必要である。</p>			

< 具体的施策 >

②交通環境等充実事業								
目標	人・物の交流はまちを活性化させるため、新名神高速道路の開通やJR奈良線高速化・複線化第二期事業などを見据えた都市基盤の整備を推進する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人	305万人	312万人	R2年3月末 公表予定		当初目標 310万人 ↓ 320万人 (R1年度)
	のりあい交通事業実施地区数	1地区 (H26年度)	1地区	1地区	2地区	2地区		3地区 (R1年度)
主な事業	事業名		事業結果					
	JR奈良線高速化・複線化第二期事業		平成27年度	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に係る鉄道施設変更認可申請に向け、環境影響評価法に基づく評価書の確定・公告手続きが完了した。また平成25年度より引き続き行っている鉄道施設等の設計及び、用地調査を順次行っており、京都駅奈良線ホーム改良工事の仮ホーム拡幅工事等が完了した。				
			平成28年度	平成26年度からはじまった京都駅奈良線ホーム改良工事が完了した。市内では、沿線住民に対する工事説明会を5カ所で実施し、新田～城陽間で本体工事に着手した。				
			平成29年度	平成28年度に市内で本体工事に着手した新田～城陽駅間に続き、六地藏～黄檗駅間及び黄檗～宇治駅間の工区についても着手し、順次工事を進めている。				

事業名	事業結果	
	年度	内容
JR奈良線高速化・複線化第二期事業	平成30年度	平成30年5月に新田駅東口の開業及び東口駅前広場の整備が完了した。令和5年春の開業を目指し、市内の各工区で工事を進めている。
新名神高速道路関連都市基盤調査事業	平成27年度	産業関連表策定業務（平成27～28年度）により明らかになる地域経済構造を参考に、宇治市人口ビジョンの実現や財政の安定化を積極的に進めていくための産業戦略が速やかに策定できるよう、庁内関係課と連携し課題整理等、準備作業に着手した。
	平成28年度	庁内関係課と連携を図り新名神高速道路を活用した都市基盤の整備について、先進都市の調査を行った。
	平成29年度	庁内関係課と連携を図り新名神高速道路を活用した都市基盤の整備について意見交換するとともに、先進都市の調査を参考に、産業戦略の可能性を研究した。
	平成30年度	産業戦略策定に伴うアンケート、企業訪問により新名神高速道路をはじめとした本市の立地環境の評価を確認した。産業戦略にて「新たな工業用地の確保」を位置付け、今後の取り組みの方向性を定めた。
宇治市交通バリアフリー全体構想の推進	平成27年度	平成26年度に「宇治市交通バリアフリー検討委員会」を設置し、委員会での議論及びパブリックコメントを経て、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂し、新たに「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を重点整備地区と位置付けた。 改定された全体構想に基づき、木幡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。また、近鉄大久保駅では、国・府・市が事業費の一部を補助する形で内方線の整備が行われた。
	平成28年度	改訂された全体構想に基づき、黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。JR宇治駅では、国・府・市が事業費の一部を補助し、内方線の整備が行われた。

主な事業

	事業名		事業結果	
主な事業	宇治市交通バリアフリー全体構想の推進	平成29年度	改訂された全体構想に基づき、伊勢田駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。 JR木幡駅では、バリアフリー化事業に向け、国・府・市が事業費の一部を補助する形で詳細設計が行われた。	
		平成30年度	JR木幡駅では、国・府・市が事業費の一部を補助する形でバリアフリー化工事が行われた。 近鉄伊勢田駅では、バリアフリー化事業に向け、国・府・市が事業費の一部を補助する形で詳細設計が行われた。	
	地域での交通手段確保のための取組支援 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	平成27年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を実施し、収支改善のための利用促進にも取り組んだ。西小倉、槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討し始めるなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。	
		平成28年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を継続した。西小倉地域については、西小倉のりあいタクシー運営委員会を設立し交通事業者を公募した。槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討するなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。	
		平成29年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を継続した。西小倉地域については、のりあい交通事業の試験運行を開始した。槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討するなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。	
		平成30年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を継続した。西小倉地域については、のりあい交通事業の本格運行を開始した。槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討するなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。	

中間総括

JR奈良線高速化・複線化第二期事業については、令和5年の開業を目指し、着実な事業進捗が図られている。また、地域での交通手段確保のための取組を支援することにより、公共交通の確保に努めることができた。

引き続き、JR奈良線高速化・複線化第二期事業の取組を進め、さらなるのりあい交通事業の展開及び課題の整理を図る中で交通環境を充実させるとともに、新名神高速道路を活かした産業戦略と連携して都市基盤の整備を検討することにより、人・物の交流によるまちの活性化を図る必要がある。

< 具体的施策 >

③公共施設アセットマネジメントの導入								
目標	公共施設は、コミュニティ活動の場として重要な役割を担う。時代に応じて求められる機能は変化しているため、市民アンケートやワークショップなどを通じ、市民ニーズを把握し、時代に即した公共施設のあり方を検討する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	公共施設等総合管理計画の策定	未策定 (H26年)	策定中	策定中	策定	策定済	策定済	策定 (R1年)
主な事業	事業名	事業結果						
	公共施設等総合管理計画策定事業	平成27年度	公共施設等総合管理計画の策定に向けて、公共施設等総合管理計画策定及び固定資産台帳整備に関する業務委託契約を締結し、庁内説明会を実施するとともに、全庁調査を実施し、公共施設に関する台帳及び既存資料などの集約並びにデータの分析を実施した。					
平成28年度		引き続き全庁調査を実施し、公共施設等に関する台帳及び既存資料などの集約並びにデータの分析を行うとともに、宇治市都市経営戦略推進本部及び専門部会、宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会により宇治市公共施設等総合管理計画の検討を行った。 また、市民アンケートを実施するとともに、平成28年12月から今後の公共施設等のあり方を市民とともに考える各種市民懇談会等を行った。						
平成29年度		住民自治の観点から広く住民意見を聞くため引き続き出前懇談会を実施し、また、6月に公共施設シンポジウムで今後の公共施設等を考える機会を設けた上で、宇治市都市経営戦略推進本部及び専門部会、宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会により意見交換を行い、パブリックコメントを実施し、平成29年9月に宇治市公共施設等総合管理計画を策定した。						

中間総括

公共施設等総合管理計画に基づく個別施設管理実施計画や実施方針を順次策定しており、公共施設等の適正配置や計画的な保全により市民サービスの維持及び健全財政の堅持に向けて着実な実行が図られるよう、公共施設等アセットマネジメントの推進に努める必要がある。

< 具体的施策 >

④地域コミュニティの活性化								
目標	市民主体による地域コミュニティの活性化を図るため、これらを担う人材の発掘・育成など、支援策の充実に取り組む。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	市民の地域行事への参加割合 (※)	24.9% (H25年度)	—	—	—	21.1%		30% (R1年度)
	自主防災組織率	69.6% (H26年度)	69.9%	71.7%	72.5%	73.1%		79.0% (R1年度)
※魅力発信に関するアンケート（平成25年度）、定住促進に関するアンケート（平成30年度）より								
主な事業	事業名	事業結果						
	防災活動を通じた地域コミュニティづくりの支援	平成27年度	自主防災組織が防災資機材を購入する場合は事業費の2分の1（10万円限度）の補助金を交付し、組織の育成を図っている。 ・平成27年度補助金交付状況 6団体 （事業開始（平成8年）よりの累計 245団体）					
平成28年度		地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度を創設し、自主防災組織の育成を図った。 ・平成28年度補助金交付状況 36団体（事業開始よりの累計1,143団体）						

主な事業	事業名		事業結果	
	防災活動を通じた地域コミュニティづくりの支援	平成29年度	<p>地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成し、自主防災組織の育成を図った。また、平成24年度から平成26年度の3年間に実施した自主防災リーダーの養成について、平成29年度より倍増を目標に養成講習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度補助金交付状況 35団体（事業開始よりの累計1,198団体） ・平成29年度自主防災リーダー養成講習参加者 52名 	
		平成30年度	<p>地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成し、自主防災組織の育成を図った。また、平成24年度から平成26年度の3年間に実施した自主防災リーダーの養成について、平成29年度より倍増を目標に養成講習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度補助金交付状況 25団体（事業開始よりの累計1,223団体） ・平成30年度自主防災リーダー養成講習参加者 42名 （累計 養成209名 登録197名） 	
	地域コミュニティ活動支援事業	平成28年度	<p>コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行い、地域コミュニティの活性化に向けた施策案を検討した。また、仕組みづくりに向けた研修・講演等を行った。</p> <p><市管理職研修> テーマ「公務員に求められる21世紀型スキルー市民協働を進めるためにー」 日 時 平成29年2月2日（木）</p> <p><講演会> テーマ「協力・共同の地域づくりから生きがいへ」 日 時 平成29年2月25日（土）</p>	

	事業名	事業結果
主な事業	地域コミュニティ活動支援事業	<p>地域のつながりについて、多様な視点から考える機会として、全5回のリレー講座を行った。また、コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行った。</p> <p>『つながり・居場所・地域の未来』リレー講座</p> <p>第1回 平成29年10月30日(月) 地域のつながり・居場所から地域の未来を考える</p> <p>第2回 平成29年11月27日(月) 町を住みこなすー超高齢社会の居場所づくりー</p> <p>第3回 平成29年12月15日(金) みんなが安心して暮らせるまちにしようやないか in 宇治</p> <p>第4回 平成30年 1月29日(月) 多様な人々がともに暮らす地域のあり方</p> <p>第5回 平成30年 2月19日(月) フューチャー・デザインで考える地域コミュニティの未来</p> <p>未来の視点から宇治市の地域コミュニティを考える機会として、シンポジウムとワークショップを開催した。</p> <p>『かんがえよう これからの 地域の未来。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「地域コミュニティの未来を考えるシンポジウム」 平成30年10月8日(月祝) ・ワークショップ(全4回)「地域コミュニティの未来を考えるワークショップ」 平成30年10月28日(日)・11月23日(祝)・12月15日(土)・平成31年1月26日(土)
中間総括	<p>地域防災力の向上については、地域防災組織育成に係る補助制度をはじめ、市民啓発に努める中で自主防災組織率の向上につなげることができた。自主防災組織率については、毎年組織率は上昇しており、重要業績評価指標の目標達成に向け、今後はより一層の啓発活動を行うなど事業に取り組む必要がある。</p> <p>地域コミュニティの活性化については、シンポジウムとワークショップを開催し、「フューチャーデザイン」という視点で地域を考える気運を高めることができた。今後は、地域コミュニティの活性化を促進するために、職員や自治会への更なる啓発・研修を実施し、より実効性のある、課題解決の具体的な手法を検討し、確立するためのワークショップ等の取り組みが必要である。</p>	

(4) 『地域経済の活力づくり』 ～宇治市における安定した雇用を創出する～

<p>目標</p>	<p>東京への一極集中を是正し、本市において安定した雇用を生み出すために、地域経済の活性化を図るとともに、まちとともに元気に成長する多様な企業が存続できるような新たな産業を振興する。 なお、安定した就労環境は、結婚、子育てなど自然増加を促していく要素において重要な条件であることも京都府が実施した少子化要因実態調査によって確認されていることから、本市においては安定した雇用創出を図る。</p>																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="365 443 2072 831"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内従業者数 ※経済センサスより</td> <td>56,323人 (H24年)</td> <td>—</td> <td>54,794人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>56,500人 (R4年)</td> </tr> <tr> <td>市内総生産 ※「きょうとの市町村民経済計算」より</td> <td>5,433億円 (H24年)</td> <td>5,626億円 (H25年)</td> <td>6,415億円 (H26年)</td> <td>6,534億円 (H27年)</td> <td>今後公表予定</td> <td></td> <td>当初目標 5,900億円 ↓ 7,000億円 (R1年度)</td> </tr> </tbody> </table>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値	市内従業者数 ※経済センサスより	56,323人 (H24年)	—	54,794人	—	—		56,500人 (R4年)	市内総生産 ※「きょうとの市町村民経済計算」より	5,433億円 (H24年)	5,626億円 (H25年)	6,415億円 (H26年)	6,534億円 (H27年)	今後公表予定		当初目標 5,900億円 ↓ 7,000億円 (R1年度)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値																									
市内従業者数 ※経済センサスより	56,323人 (H24年)	—	54,794人	—	—		56,500人 (R4年)																									
市内総生産 ※「きょうとの市町村民経済計算」より	5,433億円 (H24年)	5,626億円 (H25年)	6,415億円 (H26年)	6,534億円 (H27年)	今後公表予定		当初目標 5,900億円 ↓ 7,000億円 (R1年度)																									
<p>中間総括</p>	<p>安定した雇用を創出するため、中小企業の人材確保策及び農業者の担い手確保策をはじめとする課題に対応した各種事業を実施することにより、地域経済の活性化に向けた施策を推進することができた。 今後は、「宇治市産業戦略」に基づき、雇用拡大及び地域経済の活性化に向けて、さらなる市内企業育成・支援や新たな産業の振興等の施策を推進する必要がある。</p>																															

< 具体的施策 >

①産業活性化事業								
目標	安定した雇用を創出するため、地域資源を活かした新たな産業の創出や企業の発展を支援するとともに、市内経済の構造を分析し、地域経済の好循環を促進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	海外販路における取引数 ※宇治商工会議所が実施する 販路開拓数	6社41品目 (H26年度)	22社 154品目	12社 51品目	15社 62品目	16社 220品目		当初目標 10社以上60 品目以上 ↓ 25社以上170 品目以上 (R1年度)
	農産物の直売所数	0箇所 (H26年度)	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所以上 (R1年度)
主な事業	事業名	事業結果						
	企業連携	平成28年度 ～ 平成30年度	<p>「宇治市人口ビジョン 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策の推進を図ることを目的に、企業と包括連携協定を締結し、具体的な取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年9月6日締結 京都銀行 ・平成29年9月11日締結 京都中央信用金庫 ・平成30年2月16日締結 宇治市内郵便局 ・平成30年3月30日締結 京都信用金庫 ・平成30年6月4日締結 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 ・平成30年6月29日締結 ソフトバンク株式会社 					

	事業名		事業結果	
主な事業	商業活力再生支援事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象) (平成30年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	宇治市内の中小企業者の売上増加、ひいては地元経済の活性化を目的として、台湾及び関東にて物産展での販路開拓事業を行った。合計154品目の商品を出展し、宇治の魅力をPRすることができた。	
		平成28年度 ～ 平成30年度	<p>商業分野における創業・起業支援や地元事業者の新商品創出促進の強化、小規模事業者の経営改善等を図るための特別指導事業を行った。</p> <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府物産展in台湾（出品事業所15社うち宇治8社） ・ 地場産品PR事業（参加企業11事業者） ・ 若手後継者育成事業（受講者数16名） <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府物産展in台湾（出品事業所15社うち宇治6社） ・ 地場産品PR事業（参加企業14事業者） ・ 若手後継者育成事業（受講者数16名） <p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府物産展in台湾（出品事業所11社うち宇治4社） ・ 地場産品PR事業（参加企業14事業者） ・ 若手後継者育成事業（受講者数76名） 	
	ベンチャー企業育成支援事業	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施や、年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度 延べ支援回数530回 ・ 平成28年度 延べ支援回数590回 ・ 平成29年度 延べ支援回数518回 ・ 平成30年度 延べ支援回数542回 	

事業名	事業結果	
	事業年度	事業内容
女性の起業支援（ここからチャレンジ相談）	平成27年度～平成30年度	<p>男女共同参画社会の実現に向けた協働のまちづくりを推進するため、NPOや市民団体等の育成を図るとともに、女性のさまざまな分野へのチャレンジを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 全24回（うち2回出前相談） 延べ102人参加 ・平成28年度 全24回（うち2回出前相談） 延べ110人参加 ・平成29年度 全24回（うち2回出前相談） 延べ104人参加 ・平成30年度 全24回（うち2回出前相談） 延べ95人参加
	平成27年度	<p>地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、各種講座を開催した。</p>
	平成28年度 平成29年度	<p>地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、各種講座、直売会を開催した。</p>
	平成30年度	<p>※予算事業廃止 地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、市場での講座や駅での直売会を開催した。</p>
宇治市農産物普及促進事業	平成27年度	<p>新規就農者5名に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。給付対象者5名のうち2名に前期・後期合わせて1,500千円をそれぞれ給付し、3名に前期分750千円を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金（経営開始型）1,500千円×2名（3,000千円） 750千円×3名（2,250千円）
	平成28年度	<p>新規就農者8人に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。給付対象者8人のうち7人に1,500千円をそれぞれ給付し、1人に1,219千円を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金（経営開始型）1,500千円×7人（10,500千円） 1,219千円×1人（1,219千円）
新規就農者確保事業		

主な事業

	事業名		事業結果	
	主な事業	新規就農者確保事業	平成29年度	新規就農者7組9人（2組4人は夫婦型、5人は個人型）に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付した。
平成30年度			新規就農者9組11人（2組4人は夫婦型、7人は個人型）に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付した。	
産業関連表策定事業（再掲）		（1）－⑤掲載		
六次産業化推進事業（再掲）		（1）－⑤掲載		
産業戦略策定費（再掲）		（1）－⑤掲載		
中間総括		<p>民間企業との包括連携協定の締結により、民間企業のネットワーク及びノウハウを活用した地方創生に関する取組を進めることができた。</p> <p>また、宇治商工会議所と連携を図りながら、地場製品のPR等に努め、販路拡大を図るとともに、産業振興センター・ベンチャー企業育成工場を核にベンチャー企業の育成に努め、起業支援を図ることができた。</p> <p>一方、農業分野では、就農に要する資金等の支援により新規就農者の確保等に努め、地元農産物の普及等に向けた講座・直売会を実施しているものの、直売所の開設には至っていない。</p> <p>今後も、宇治商工会議所と連携しながら地域経済の活性化を図る必要がある。</p>		

<具体的施策>

②雇用促進事業								
目標	就業に必要な知識・技術を習得するための研修やセミナーを実施するとともに、若者から高齢者、女性や障害のある人などあらゆる世代・人の市域内雇用の創出と拡充を促進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査より	72.6% (H22年)	74.6%	—	—	—		75.0% (R2年)
	合同企業説明会延べ参加企業数	0社 (H26年度)	—	16社	16社	17社		20社 (H28～R1年度)
	非農業者の延べ就農者数	0人 (H26年度)	0人	0人	0人	0人		5人 (H27～R1年度)
主な事業	事業名	事業結果						
	就労支援事業	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・ 出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数52件） ・ 会社説明会（11月から全5回、参加企業20社、参加者37人） 					
		平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・ 出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数50件） ・ 会社説明会（全11回開催、参加企業50社、参加者84人） 					
		平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・ 出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数44件） ・ 会社説明会（全10回開催、参加企業57社、参加者86人） 					

	事業名		事業結果	
主な事業	就労支援事業	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数25件） ・会社説明会（全11回開催、参加企業59社、参加者154人） 	
	女性・若者・高齢者人材育成事業 （平成27年度地方創生先行型交付金対象）	平成27年度	就労活動等に不安を抱いている若者及び就労を目指す女性に対して、セミナー受講や実習を行ってもらい、失業者4名の地元企業就業につなげることができた。	
	企業立地促進助成事業	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 交付社数 5社 ・平成28年度 交付社数 5社 ・平成29年度 交付社数 4社 ・平成30年度 交付社数 4社 	
	新規就農者定着促進事業 （平成27年度地方創生先行型交付金対象） （平成28年度地方創生推進交付金対象）	平成27年度	新規就農者の受入農家を3戸認定した。（水稻、野菜、茶）	
		平成28年度	新規就農者の受入農家を3戸認定している。	
		平成29年度	新規就農者の受入農家を新たに1戸認定した。（花）	
		平成30年度	新規就農者の受入農家を4戸認定している。	
障害者雇用月間・週間における雇用促進の啓発	平成27年度 ～ 平成30年度	市政だよりによる啓発及び障害者週間記念事業実行委員会の実施する事業への補助を実施した。障害者の雇用促進のため、今後も引き続き実施する。		
宇治市シルバー人材センター運営助成	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>（公社）宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 会員数660人（男性518人 女性142人） ・平成28年度 会員数645人（男性499人 女性146人） ・平成29年度 会員数597人（男性462人 女性135人） ・平成30年度 会員数586人（男性449人 女性137人） 		

	事業名	事業結果	
主な事業	中小企業人材確保支援事業	平成28年度	平成29年3月7日にメルパルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業16社が出展、76名の来場者があった。
		平成29年度	平成30年3月8日にメルパルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業16社が出展、45名の来場者があった。
		平成30年度	平成31年3月7日にメルパルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業17社が出展、37名の来場者があった。
中間総括	<p>中小企業の人材確保に向けて、合同企業説明会・面接会を開催したほか、新規就農者定着促進に向けた取組を行うなど、雇用創出の拡充に向けて取組を進めている。</p> <p>今後も、若者から高齢者、女性や障害のある人などあらゆる世代・人の雇用創出につながる取組を推進していく。</p>		

(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』～子どもが輝く未来の宇治市を築く～

<p>目標</p>	<p>京都府が実施した少子化要因実態調査によれば、本市が属する山城北地域の在住者の結婚意向は強い（すぐにでも結婚したいという回答比率が最も高い）ことがわかる。このような意向を後押しするような施策を用いて、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成とそれらの実現に向けた支援を実施する。</p>																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="360 443 2069 684"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出生数</td> <td>7,557人 (H22～26年)</td> <td>1,369人</td> <td>1,296人</td> <td>1,246人</td> <td>1,219人</td> <td></td> <td>7,850人 (H27～R1年)</td> </tr> <tr> <td>子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合（※）</td> <td>70.6% (H28年度)</td> <td>—</td> <td>70.6%</td> <td>—</td> <td>70.8%</td> <td></td> <td>75.6% (R1年度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（※）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値	出生数	7,557人 (H22～26年)	1,369人	1,296人	1,246人	1,219人		7,850人 (H27～R1年)	子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合（※）	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—	70.8%		75.6% (R1年度)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値																									
出生数	7,557人 (H22～26年)	1,369人	1,296人	1,246人	1,219人		7,850人 (H27～R1年)																									
子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合（※）	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—	70.8%		75.6% (R1年度)																									
<p>中間総括</p>	<p>子育て支援施策の充実に重点的に取り組んできたが、出生数については過去5年間の平均を下回り、年々減少しており、子育てを担う若い世代の就労支援や結婚・出産・子育て支援など、出生数の増加につながる事業の実施が必要である。併せて、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成とそれらの実現に向けた効果的な事業の検討・実施が必要である。</p>																															

< 具体的施策 >

①若い世代の就労支援事業

目標	結婚を妨げる要因の一つとして、雇用問題があることから、これらの解消に向けて、就業に必要な知識・技術を習得するための研修やセミナーを実施するとともに、若者の雇用の創出と拡充を促進する。
----	---

重要業績 評価指標 (K P I)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	20歳代後半から30歳代前半の 就業率 ※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—	—	—		75.0% (R2年)

主な事業	事業名	事業結果	
	ひとり親家庭自立支援給付事業	平成27年度	ひとり親家庭の親や子の学び直しを支援し、より良い条件での就職につなげるために高等学校卒業程度認定試験の合格を目指して、対象講座を受講した場合に給付金を支給した。 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数 1件
		平成28年度	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のための講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付金事業の支給期間を2年から3年に拡大した。
		平成29年度	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、養成機関等で教育訓練を受講したものに給付金を支給し、経済的な負担の軽減を図ってきた。平成29年度からは雇用保険制度による一般教育訓練給付金受給者も本制度の対象者となり（本制度との差額を支給）、一層の自立促進を図れるようになった。
		平成30年度	みなし寡婦控除が適用される等の制度改正があり、利用者枠がやや拡大された。その他には大きな制度改正はなかったが、引き続き給付金を支給することで、ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、自立を支援することができた。

主な事業	事業名	事業結果
	就労支援事業（再掲）	（４）－②掲載
	女性・若者・高齢者人材育成事業（再掲）	（４）－②掲載
中間総括	<p>若者の雇用促進を目的とした就労支援やひとり親家庭自立支援給付事業を通じて、就業の促進や就業に有利な資産取得を支援することができたが、若者の就業率の増加を目指す事業の検討が必要がある。</p>	

< 具体的施策 >

②結婚・出産支援事業

目標	<p>少子化の要因の一つとして、20歳代後半から30歳代の未婚率が高まっていることや少産化があることから、これらの解消に向けて、宇治で結婚・出産したいと思えるイメージ形成とそれらを実現する支援を実施する。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合 (※)	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—	70.8%		75.6% (R1年度)
	(※) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より							
主な事業	事業名	事業結果						
	不妊治療補助事業	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。</p> <p>不育治療等は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成し、男性不妊治療はTESE 20万円、MESA 5万円、1年度につき20万円まで助成した。なお、男性不妊治療は平成28年1月20日以降分より京都府の特定不妊治療費助成事業へ移行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 助成件数 515件 ・平成28年度 助成件数 460件 ・平成29年度 助成件数 428件 ・平成30年度 助成件数 385件 					
	第3子の保育料無償化の実施	平成27年度	<p>保育所に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、就学前までとしている保育所保育料に係る多子計算の年齢制限を満18歳未満に拡大し、第3子以降の保育料助成（無償化）を行った。</p> <p>対象世帯の保育所保育料について、助成を行うことにより、多子世帯の経済的負担の軽減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金交付人数 413人 ・助成金交付額 64,959千円 					

事業名	事業結果	
	第3子の保育料無償化の実施	<p>保育所等に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、18歳未満のこどもが3人以上いて、保育所等を利用している第3子以降の保育料減免（無償化）を行った。</p> <p>対象世帯の保育所等保育料について、減免を行うことにより、多子世帯の経済的負担の軽減に努めた。</p> <p>平成28年度 ～ 平成30年度</p> <p><平成28年度> ・減免対象人数 308人 ・減免額 60,824千円</p> <p><平成29年度> ・減免対象人数 303人 ・減免額 64,322千円</p> <p><平成30年度> ・減免対象人数 302人 ・減免額 62,489千円</p>
はじめての絵本ふれあい事業	平成27年度	<p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p>・3か月児健診配付数 1,341冊 ・1歳8か月児健診配付数 1,396冊</p>
	平成28年度	<p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p>事業開始15年を経過した節目として市民アンケートを実施し、市民のニーズを把握することができた。今後も市民のニーズに応じた事業展開を検討しながら引き続き実施する。</p> <p>・3か月児健診配付数 1,286冊 ・1歳8か月児健診配付数 1,347冊</p>

主な事業

	事業名		事業結果	
主な事業	はじめての絵本ふれあい事業	平成29年度	<p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p>3か月児健診で絵本の配布を行うことで絵本の読み聞かせは定着し、親子の関係づくりを促進できており、1歳8か月児健診での事業展開について引き続き検討を行うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月児健診配付数 1,247冊 ・1歳8か月児健診配付数 1,328冊 	
		平成30年度	<p>3か月児健診時に、絵本を1冊手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行った。また、フォローアップ活動として1歳8か月児健診では、保育士による大型絵本の読み聞かせやおすすめ絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p>今後も、効果的な事業展開を検討し引き続き実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月児健診配付数 1,239冊 ・1歳8か月児受診児数 1,251人 	
	パパママスタート事業 (母子健康手帳GET記念日)	平成27年度	<p>妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <p>気軽に参加しやすいように教室の内容を変更して実施することで、妊娠期の知識の啓発と仲間づくりにつなげることができた。今後は参加者数、市民ニーズの把握、分析に努め、より効果的な実施手法を検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳GET記念日 年間30回 参加者247人 (配偶者や先輩ママも含む) 	
		平成28年度	<p>妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <p>市民アンケートを実施することで、市民のニーズを把握することができた。配偶者(父親)の参加しやすい日時の設定や講座内容の検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳GET記念日 年間30回 参加者286人 (配偶者や先輩ママも含む) 	

	事業名		事業結果	
主な事業	パパママスタート事業 (母子健康手帳GET記念日)	平成29年度	<p>妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <p>市民のニーズに応じ、配偶者（父親）が参加しやすいよう土曜日開催の教室を設け、内容も新たに実施したところ、定員を上回る申し込みがあり、定員枠を増やすことで対応した。今後も教室の回数や実施時期等を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳GET記念日 年間24回 参加者426人 (配偶者や先輩ママ他含む) 	
		平成30年度	<p>妊娠期から母親に寄り添った相談支援を行えるよう、これまでのパパママスタート事業を再編し、講座・指導の形式から、交流主体の形式に変更し、妊婦の孤立感の軽減・解消を図った。また、配偶者（パートナー）や家族を対象に、市民ニーズのある土曜日開催の教室を増やし実施した。</p> <p>今後も教室の回数や実施時期等を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーマタニティクラス（母子健康手帳GET記念日から再編） 年間18回 参加者104人（配偶者や他家族含む） ・これで安心 赤ちゃんお世話体験 年間6回 参加者145人（配偶者や他家族含む） 	
	農業者等婚活支援事業	平成28年度	<p>次世代の農業従事者の増加による農家の維持を図るため、農業関係者と農業に興味がある者同士が知り合う機会の創出として、農コンを開催した。</p>	
中間総括	<p>宇治での結婚・出産を実現するための支援として、引き続き、不妊治療経費の助成、多子世帯に対する保育料の助成などを実施することにより、経済的負担の軽減を図ることができた。また、パパママスタート事業を再編し、母親の交流を主体とする形式に変更し、妊娠期の仲間づくりにつなげ、孤独感を軽減することができた。</p> <p>今後も、市民ニーズも踏まえる中で、事業効果を検証しながら、効果的な結婚・出産支援事業の検討が必要である。</p>			

<具体的施策>

③子育て支援環境充実事業								
目標	子育てを担う世代が安心して出産・育児を行うことができるよう、子育てに関する相談の充実や待機児童対策などの環境整備を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合 (※1)	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—	70.8%		75.6% (R1年度)
	待機児童数 (国定義後) (※2)	0人 (H26.4)	0人	0人	10人	0人		0人 (R2.4)
(※1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査より (※2) 国定義：他に利用可能な保育所等があるにも関わらず、特定の保育所等を希望しているものや、家庭的保育等を利用しているものなどは、待機児童数に含めない。								
主な事業	事業名	事業結果						
	小学校内での育成学級	平成27年度 平成28年度	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。 放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。					
			<平成27年度> ・開設学校数 20校 学級数 20学級 (39クラス) ・入級児童数 1,929人 (平成27年5月1日現在)					
			<平成28年度> ・開設学校数 20校 学級数 20学級 (39クラス) ・入級児童数 1,998人 (平成28年5月1日現在)					

主な事業	事業名		事業結果	
	小学校内での育成学級	平成29年度 平成30年度	<平成29年度> ・開設学校数 20校 学級数 20学級 (39クラス) ・入級児童数 1,983人 (平成29年5月1日現在) <平成30年度> ・開設学校数 20校 学級数 20学級 (39クラス) ・入級児童数 2,001人 (平成30年5月1日現在)	
	乳幼児全戸訪問事業	平成27年度 ～ 平成30年度	生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげた。 ・平成27年度 訪問件数 605件 ・平成28年度 訪問件数 519件 ・平成29年度 訪問件数 482件 ・平成30年度 訪問件数 478件	
	子育て支援環境整備事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	子育て世帯を支援するため、保育所の園庭開放やひろばの開催等のための環境整備、ファミリー・サポート・センターの貸出備品の整備を実施した。	
		平成28年度	子どもと一緒に来庁される方への利便性向上のため、市役所庁舎及び議会棟内のトイレに乳幼児チェア及びおむつ交換台を設置した。 ・設置数 乳幼児チェア 18台、おむつ交換台 14台	
		平成29年度	子どもと一緒に来庁される方への利便性向上のため、生涯学習センター及び総合福祉会館内のトイレに乳幼児チェア及びおむつ交換台を設置した。 ・設置数 乳幼児チェア 9台、おむつ交換台 6台	
	子ども・子育て情報発信事業	平成27年度	(子育て情報誌の発行を「しあわせ子育て・子育て応援事業」で実施)	
		平成28年度	(子育て情報誌の発行を「しあわせ子育て・子育て応援事業」で実施)	

主な事業	事業名	事業結果	
	子ども・子育て情報発信事業	平成29年度	<p>子育て情報誌については、平成28年度から有料広告事業を活用してフルカラー化を行うとともに紙面内容の充実を図った。また、子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。</p> <p>また、さらなる情報発信の充実を目指して、スマートフォンを主な対象とした「LINE（ライン）」を活用した子育て情報の発信に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌送付世帯数 6,631世帯 ・LINE登録件数 2,275件（平成30年3月31日現在）
		平成30年度	<p>子育て情報誌を子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。併せて、平成30年度版から電子書籍版を作成し、スマートフォンやパソコンなどでも閲覧できるようにした。</p> <p>また、さらなる情報発信の充実を目指して、スマートフォンを主な対象とした「LINE（ライン）」を活用した子育て情報の発信に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌送付世帯数 6,459世帯 ・LINE登録件数 3,252件（平成31年3月31日現在）
放課後児童健全育成事業補助金	平成28年度 ～ 平成30年度	<p>育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象民間事業者数 3法人 ・補助対象児童数 延べ2,685人 <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象民間事業者数 3法人 ・補助対象児童数 延べ3,200人 <p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象民間事業者数 3法人 ・補助対象児童数 延べ3,259人 	

	事業名	事業結果
主な事業	ファミリー・サポート・センター運営事業	<p>保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。</p> <p><平成27年度> 対象児童を「小学生6年生まで」に拡大するとともに「家事等支援」の対象期間を「産前2カ月から1歳に達するまで」に拡大した。 ・援助会員数136人 依頼会員数1,474人 両方会員数29人 利用件数2,099件</p> <p><平成28年度> 無料利用券の利用時間数を4時間分に拡大するとともに、利用期限を「就学前まで」に拡大した。 ・援助会員数128人 依頼会員数1,412人 両方会員数32人 利用件数1,296件</p> <p><平成29年度> ・援助会員数120人 依頼会員数1,382人 両方会員数28人 利用件数1,378件</p> <p><平成30年度> ・援助会員数123人 依頼会員数1,328人 両方会員数24人 利用件数1,449件</p>
	子育て支援総合コーディネーター事業	<p>子育て家庭への支援の充実を図るため、市役所1階市民交流ロビーにおいて開設している「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施した。</p> <p>平成27年度</p> <p><平成27年度> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※地域子育て支援基幹センターにも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,794人、相談 815人</p>

	事業名		事業結果																											
	主な事業	子育て支援総合コーディネート事業	平成28年度 ～ 平成30年度	<p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※地域子育て支援基幹センターにも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,947人、相談 1,250人 <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※市役所3階こども家庭相談にも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,812人、相談 1,351人 <p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※市役所3階こども家庭相談にも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,824人、相談 1,508人 																										
地域子育て支援拠点事業		平成27年度	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター（直営）</td> <td>9,647</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター（直営）</td> <td>6,176</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター（委託）</td> <td>375</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター（委託）</td> <td>5,755</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター（委託）</td> <td>8,319</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん（委託）</td> <td>7,359</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム（委託）</td> <td>8,248</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら（委託）</td> <td>2,340</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>		名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター（直営）	9,647	600	2. 西部地域子育て支援センター（直営）	6,176	319	3. 南部地域子育て支援センター（委託）	375	47	4. 東部地域子育て支援センター（委託）	5,755	103	5. 北部地域子育て支援センター（委託）	8,319	91	6. りぼん（委託）	7,359	289	7. ぶんきょうにこにこルーム（委託）	8,248	89	8. ひあ にしおぐら（委託）	2,340
名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)																												
1. 地域子育て支援基幹センター（直営）	9,647	600																												
2. 西部地域子育て支援センター（直営）	6,176	319																												
3. 南部地域子育て支援センター（委託）	375	47																												
4. 東部地域子育て支援センター（委託）	5,755	103																												
5. 北部地域子育て支援センター（委託）	8,319	91																												
6. りぼん（委託）	7,359	289																												
7. ぶんきょうにこにこルーム（委託）	8,248	89																												
8. ひあ にしおぐら（委託）	2,340	140																												

	事業名	事業結果			
主な事業	地域子育て支援拠点事業	<平成28年度>	名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)
			1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	8,726	568
			2. 西部地域子育て支援センター(直営)	6,119	85
			3. 南部地域子育て支援センター(委託)	552	26
			4. 東部地域子育て支援センター(委託)	7,256	170
			5. 北部地域子育て支援センター(委託)	8,302	164
			6. りぼん(委託)	8,001	383
			7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	8,985	179
		8. ひあにしおぐら(委託)	1,108	472	
		<平成29年度>	名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)
			1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	9,345	515
			2. 西部地域子育て支援センター(直営)	3,755	121
			3. 南部地域子育て支援センター(委託)	831	20
			4. 東部地域子育て支援センター(委託)	6,749	102
			5. 北部地域子育て支援センター(委託)	5,455	119
			6. りぼん(委託)	6,952	415
			7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	9,241	150
		8. ひあにしおぐら(委託)	1,930	1,036	
		<平成30年度>	名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)
			1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	10,638	485
			2. 西部地域子育て支援センター(直営)	4,447	128
			3. 南部地域子育て支援センター(委託)	1,661	79
			4. 東部地域子育て支援センター(委託)	6,204	75
			5. 北部地域子育て支援センター(委託)	5,177	87
6. りぼん(委託)	7,283		331		
7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	9,840		74		
8. ひあにしおぐら(委託)	2,028		443		
9. toridori(委託) ※平成30年10月開設	3,134	92			

事業名	事業結果											
	子育て支援医療費支給事業	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式又は償還給付方式で助成を行う。</p> <p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 受給者数 19,510人 扶助費 441,773千円 ・平成28年度 受給者数 21,114人 扶助費 444,147千円 ・平成29年度 受給者数 22,962人 扶助費 481,953千円 <p>※平成29年9月診療分からは中学生の外来診療分にも助成を拡大した(3,000円超償還給付方式から200円現物給付方式に拡大)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 受給者数 22,696人 扶助費 517,046千円 									
乳幼児健康支援一時預かり事業	平成27年度	<p>病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成8年9月から宇治病院、平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の3カ所で開催している。</p>										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施施設</th> <th>延べ利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター(宇治病院)</td> <td>693</td> </tr> <tr> <td>浅妻医院パピールーム(浅妻医院)</td> <td>803</td> </tr> <tr> <td>宇治徳洲会病院ひまわりルーム(宇治徳洲会病院)</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,782</td> </tr> </tbody> </table>	実施施設	延べ利用者数(人)	宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター(宇治病院)	693	浅妻医院パピールーム(浅妻医院)	803	宇治徳洲会病院ひまわりルーム(宇治徳洲会病院)	286	合計	1,782
		実施施設	延べ利用者数(人)									
		宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター(宇治病院)	693									
		浅妻医院パピールーム(浅妻医院)	803									
宇治徳洲会病院ひまわりルーム(宇治徳洲会病院)	286											
合計	1,782											

主な事業

事業名	事業結果		
	実施施設	延べ利用者数（人）	
主な事業 乳幼児健康支援一時預かり事業	平成28年度	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。なお、平成28年度から、対象児童を小学6年生までに拡大した。	
		実施施設	延べ利用者数（人）
		宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院）	562
		浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	749
		宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	720
	合計	2,031	
	平成29年度	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。	
		実施施設	延べ利用者数（人）
		宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院）	625
		浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	756
		宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	688
	合計	2,069	
	平成30年度	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。	
		実施施設	延べ利用者数（人）
		宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院）	451
浅妻医院パピールーム（浅妻医院）		686	
宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）		476	
合計	1,613		

主な事業	事業名		事業結果	
	しあわせ子育て・子育て応援事業	平成27年度	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報した。</p> <p>お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。</p> <p>・記念品等送付世帯数 1,276世帯</p>	
		平成28年度	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報した。</p> <p>お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。</p> <p>・記念品等送付世帯数 1,180世帯</p>	
		平成29年度	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等（お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券など）を贈った。</p> <p>・記念品等送付世帯数 1,125世帯</p>	
第3子の保育料無償化の実施（再掲）	（5）－②掲載			
中間総括	<p>子育て支援に関する相談が年々増加する中、平成30年度は地域子育て支援拠点を1か所増設し、子育て支援環境の充実を図ることができた。また、子育て情報誌の電子化や「LINE（ライン）」による情報発信の取組など、子育て情報を取得しやすい環境を整えることができた。</p> <p>子育てを担う世代が安心して出産・育児を行うことができるよう、事業効果を踏まえる中で、今後も事業を継続していく必要がある。</p>			

< 具体的施策 >

④ 学習環境等充実事業

目標

宇治の未来を担う子どもを育むため、市内大学と連携した教育の実施や専門家による支援チームの設置など、学習環境の充実を図る。

重要業績
評価指標
(KPI)

指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
理科が「好き」な児童生徒の割合	小学校6年生 79.3% (京都府府平均:78.8%) 中学校3年生 52.1% (京都府平均:55.3%) (H24年度)	小学校6年生 77.3% (京都府府平均:82.0%) 中学校3年生 54.3% (京都府平均:55.3%)	—	—	小学校6年生 76.7% (京都府府平均:81.8%) 中学校3年生 46.3% (京都府平均:55.4%)		京都府平均 以上 (R3年度)
図書館の児童書蔵書冊数	94,991冊 (H26年度)	96,515冊	97,731冊	99,575冊	100,832冊		105,287冊 (R2年度)
学校司書の巡回日数	1,512日 (H25年度)	1,923日	<平成27年度地方創生先行型交付金の効果検証>				1,728日 (H27年度)
出前・受入事業	0校 (H25年度)	小学校2校					市内小中学校 10校以上 (H27年度)
中央図書館CDブック・DVDの利用	0件 (H25年度)	2,520件					750件以上 (H27年度)
中央図書館貸出冊数	362,512冊	384,842冊					362,512冊 (H27年度)

	事業名	事業結果
主な事業	英語指導助手設置事業	<p>JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。</p> <p><平成27年度> 小学校派遣日数 945日 中学校派遣日数 778日 幼稚園派遣日数 64日</p> <p><平成28年度> 小学校派遣日数 921日 中学校派遣日数 783日 幼稚園派遣日数 69日</p> <p><平成29年度> 小学校派遣日数 932日 中学校派遣日数 762日 幼稚園派遣日数 65日</p> <p><平成30年度> 小学校派遣日数 988日 中学校派遣日数 741日 幼稚園派遣日数 52日</p>
	学校支援チーム活動事業	<p>いじめや不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。</p> <p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要する問題について、専門的な助言や支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるよう、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、また、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置することにより、学校支援の取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 支援チーム会議開催数 13回 ・平成28年度 支援チーム会議開催数 14回 ・平成29年度 支援チーム会議開催数 16回 ・平成30年度 支援チーム会議開催数 11回

	事業名		事業結果	
主な事業	図書館教育充実事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	平成27年度	図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。「ことばの力」育成研究事業を開始。	
		平成28年度	図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動、「ことばの力」育成研究事業を通じて、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。	
		平成29年度	図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動、「ことばの力」育成研究事業を通じて、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。今後、研究成果の他校への普及について検討する。	
		平成30年度	図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動等を通じて、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。また、授業支援メニューを作成し、次年度の活動につなげることができた。	
	図書に触れる環境づくり (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	平成27年度	視聴覚資料を導入することにより、市民の生涯学習を促進することができた。今後、所蔵スペースを考慮し、市民及び利用者のニーズを把握する中で、視聴覚資料の選定については十分に検討する。	
		平成28年度	利用者の利便性向上を図るため、4月から予約図書配本所を1か所増設するとともに、京都市図書館との相互利用を開始した。また、開館時間の延長を試行し、効果や利用状況の検証を行った。	
		平成29年度	前年度の時間延長試行結果を踏まえ、4月から中央図書館の平日の開館時間を18時まで延長した。これにより、平日利用がしにくかった社会人や学生、生徒等の利便性の向上が図られ、図書に触れる機会を増やすことができた。	
		平成30年度	子ども向け企画事業の充実を図り、幼い頃から子どもが図書館や本に親しむ機会を提供した。また、今年度から子育て支援施設に加え、宇治支援学校や地域に出向いておはなし会を開催するなど、子どもが図書に触れ、本の楽しさに触れる機会を増やすことができた。	

事業名		事業結果			
<p>主な事業</p> <p>スクール・サイエンス・サポート事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)</p>	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学施設訪問（京都大学宇治川オープンラボラトリー） 防災研究所 平盛小学校6年生 ・京都大学施設訪問（京都大学宇治キャンパス） エネルギー理工学研究所 西大久保小学校5年生 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校教員 		<p>34名</p> <p>40名</p> <p>21名</p>	
	平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校5・6年生 ・京都大学施設訪問（京都大学宇治キャンパス） エネルギー理工学研究所 南小倉小学校5年生 化学研究所 北小倉小学校5年生 ・宇治市中学生理科教室（宇治黄檗中学校理科室） 市立中学校理科部員 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小中学校教員 	<p>20校</p> <p>36名</p> <p>42名</p> <p>3校</p>	<p>152名</p> <p>34名</p> <p>22名</p> <p>34名</p>	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校5・6年生 ・京都大学施設訪問（京都大学宇治川オープンラボラトリー） 防災研究所 菟道小学校6年生 防災研究所 西小倉小学校6年生 ・宇治市中学生理科教室（エネルギー理工学研究所） 市立中学校理科部員 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小中学校教員 	<p>20校</p> <p>56名</p> <p>50名</p> <p>4校</p>	<p>121名</p> <p>17名</p> <p>34名</p>	
	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校5・6年生 ・京都大学施設訪問（防災研究所・境界層風洞実験室） 防災研究所 北槇島小学校5年生 ・京都大学出前講座（南宇治中学校柔道場） 南宇治中学校1年生 ・宇治市中学生理科教室（エネルギー理工学研究所） 市立中学校理科部員 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小中学校教員 	<p>93名</p> <p>47名</p> <p>75名</p> <p>4校</p>	<p>20名</p> <p>25名</p>	

	事業名		事業結果	
主な事業	図書館事業計画策定	平成28年度	図書館市民ニーズ調査及び利用者アンケートを実施したほか、開館時間の延長を試行した結果、的確な市民ニーズを把握するとともに、（仮称）宇治市図書館事業計画策定に係る基礎資料を収集することができた。今後も市民ニーズの把握に努め、計画策定を進める。	
		平成29年度	市民ニーズ調査、利用者アンケート、パブリックコメント等を踏まえ「宇治市図書館事業計画」を策定した。策定に当たっては、本市の地域性や図書館の特徴、利用者ニーズ等に応じた適切な選択により短期的な目標を示し、実現性の高い計画とした。今後は計画の円滑な推進に努める。	
	いきいき学級支援員設置事業	平成27年度	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>いきいき学級支援員配置校 小学校 17校 中学校 9校 （京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校5校・中学校1校を除く）</p> <p>いきいき学級支援員設置対象校における 通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合 9.2% 個別の指導計画の作成数 700人（64.2%）</p>	
		平成28年度	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>いきいき学級支援員配置校 小学校 17校 中学校 8校 （京都府特別支援教育充実事業対象校・インクルーシブ教育システム推進事業に係る合理的配慮協力員配置校 小学校5校・中学校2校を除く）</p> <p>いきいき学級支援員設置対象校における 通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合 10.7% 個別の指導計画の作成数 670人（55.6%）</p>	

主な事業	事業名		事業結果	
	いきいき学級支援員設置事業	平成29年度	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>いきいき学級支援員配置校 小学校 16校 中学校 8校</p> <p>(京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校6校・中学校2校を除く)</p> <p>いきいき学級支援員設置対象校における 通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合 10.2%</p> <p>個別の指導計画の作成数 667人 (62.3%)</p>	
		平成30年度	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>いきいき学級支援員配置校 小学校 15校 中学校 9校</p> <p>(京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校7校・中学校1校を除く)</p> <p>いきいき学級支援員設置対象校における 通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合 10.2%</p> <p>個別の指導計画の作成数 790人 (75.7%)</p>	
	大学連携	平成27年度	<p>(京都文教大学・京都文教短期大学)</p> <p>平成22年2月に締結した連携協定に基づき、各種連携事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治魅力発信プラットフォームのコンサルティング等委託 ・地域子育て支援拠点事業「ぶんきょうにこにこルーム」 ・宇治市高齢者アカデミー事業 ・学生が考案したメニューを宇治市役所食堂にて提供 <p>(京都大学宇治キャンパス)</p> <p>平成26年11月に締結した連携協定に基づき、各種連携事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市自主防災リーダーの養成講習 ・スクール・サイエンス・サポート事業 	

	事業名	事業結果
主な事業	大学連携	<p>平成28年度</p> <p>(京都文教大学・京都文教短期大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治魅力発信プラットフォームのコンサルティング等委託 ・地域子育て支援拠点事業「ぶんきょうにこにこルーム」 ・宇治市高齢者アカデミー事業 ・学生が考案したメニューを宇治市役所食堂にて提供 ・宇治市政策研究 ・宇治市防災訓練の開催 <p>(京都大学宇治キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治市自主防災リーダーの養成講習 ・スクール・サイエンス・サポート事業
		<p>平成29年度</p> <p>(京都文教大学・京都文教短期大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治魅力発信プラットフォームのコンサルティング等委託 ・地域子育て支援拠点事業「ぶんきょうにこにこルーム」 ・宇治市高齢者アカデミー事業 ・学生が考案したメニューを宇治市役所食堂にて提供 ・宇治市政策研究 ・地域インターシップとして実習生の受入れ <p>(京都大学宇治キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治市自主防災リーダーの養成講習 ・スクール・サイエンス・サポート事業 ・宇治市防災訓練

主な事業	事業名	事業結果
	大学連携	平成30年度
生活困窮者学習支援検討事業	平成28年度	生活困窮世帯等の子どもの学習支援検討委員会を平成28年9月1日に設置した。合計3回の委員会開催を経て、「生活困窮世帯等の子どもの学習支援の在り方に関する提言」をいただいた。同提言を尊重して、生活困窮世帯等の子どもの学習支援の在り方を検討した。
	平成29年度	平成29年6月より「宇治市生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業」として事業開始。登録生徒数20名。事業実施回数延べ75回。延べ利用生徒数612名。
	平成30年度	平成29年6月より「宇治市生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業」として事業開始。登録生徒数21名。事業実施回数延べ100回。延べ利用生徒数830名。
宇治学推進事業（再掲）	（2）－②掲載	

中間総括

市内の大学との連携により、教員研修、小学生の施設訪問及び小中学生の理科教室などの様々な取組を実施し学力向上の意識を高めるとともに、生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえた学習支援、その他養育に関する相談支援等を行い学習環境の充実につなげることができた。また、図書館では子ども向け企画事業の充実を図り、子どもが図書に触れ、本の楽しさを知る機会を増やすことができた。

今後も宇治の未来を担う子どもを育むため、さらなる学習環境の充実に努める必要がある。

< 具体的施策 >

⑤ 保幼小中の連携教育推進事業

<p>目標</p>	<p>就学前教育の充実と小・中学校の連携を図り、つまずきのない教育を支援する。</p>							
<p>重要業績 評価指標 (KPI)</p>	<p>指標</p>	<p>基準値</p>	<p>平成27年度</p>	<p>平成28年度</p>	<p>平成29年度</p>	<p>平成30年度</p>	<p>令和元年度</p>	<p>目標値</p>
<p>中学校入学に対する不安割合</p>	<p>小学校6年生 34.1% 中学校1年生 28.1% (H26年度)</p>	<p>小学校6年生 34.7% 中学校1年生 25.8%</p>	<p>小学校6年生 34% 中学校1年生 25.4%</p>	<p>小学校6年生 47% 中学校1年生 25.2%</p>	<p>小学校6年生 50.4% 中学校1年生 28.0%</p>		<p>小学校6年生：30%以下 中学校1年生：25%以下 (R1年度)</p>	
<p>保育所や幼稚園、家庭と連携して交流活動を実施している小学校の校数</p>	<p>全校実施 (H26年度)</p>	<p>全校実施</p>	<p>全校実施</p>	<p>全校実施</p>	<p>全校実施</p>		<p>全校実施 (R3年度)</p>	
<p>主な事業</p>	<p>事業名</p>		<p>事業結果</p>					
<p>小中一貫教育推進事業</p>	<p>平成27年度</p>	<p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。 また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p>						

	事業名	事業結果
主な事業	小中一貫教育推進事業	<p>平成28年度</p> <p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p>
	小中一貫教育推進事業	<p>平成29年度</p> <p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーター又はラーニングコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p>
	小中一貫教育推進事業	<p>平成30年度</p> <p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、平成30年度は西小倉中、南宇治中、広野中、黄檗中の各ブロックにラーニングコーディネーターを、他のブロックにチーフコーディネーターを配置し、さらに全中学校ブロックで教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p>

	事業名	事業結果
主な事業	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員64名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続のための実践交流会」への参加の依頼。保育所（園）・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員58名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続カリキュラム実践交流会」への参加依頼。保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員51名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続カリキュラム実践交流会」への参加依頼。保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員50名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続カリキュラム実践交流会」への参加依頼。保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
中間総括	<p>ラーニングコーディネーター、チーフコーディネーター及び教科連携教員の配置により、小中一貫教育を推進し義務教育期間の連続性を考慮した指導等を実施することができ、併せて、小中一貫教育体制を活用した学力向上に取り組むことができた。一方、中学校入学に対する不安割合は増加していることから、今後も引き続き小中一貫教育の推進を図り、つまづきのない教育を支援する必要がある。</p> <p>また、保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修しており、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言等、今後も進めていく必要がある。</p>	

< 具体的施策 >

⑥地域等協働子育て環境充実事業								
目標	子育てを担う世代が安心して育児ができるよう、育友会・PTAをはじめ、青少年健全育成協議会等の団体や、地域での取組などと協働し、地域で子育てを支える仕組みを構築する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
	家庭学習の定着度の割合	小学校6年生 52.9% 中学校3年生 63.0% (H26年度)	小学校6年生 51.8% 中学校3年生 62.7%	小学校6年生 51.2% 中学校3年生 61.5%	小学校6年生 53.3% 中学校3年生 64.4%	小学校6年生 58.2% 中学校3年生 46.9%		小学校6年生 60%以上 中学校3年生 65%以上 (R3年度)
	児童生徒が地域活動に参加した割合	小学校 63.3% (京都府平均：71.4%) 中学校 33.5% (京都府平均：42.9%) (H26年度)	小学校 62.6% (京都府平均：70.0%) 中学校 36.8% (京都府平均：45.6%)	小学校 64% (京都府平均：70.5%) 中学校 36% (京都府平均：43%)	小学校 61% (京都府平均：65.0%) 中学校 30.2% (京都府平均：39.7%)	小学校 60% (京都府平均：64.6%) 中学校 30.9% (京都府平均：41.4%)		京都府平均 以上 (R3年度)
主な事業	事業名	事業結果						
	家庭・地域の教育力向上検討事業	平成27年度	全国的に喫緊の課題となっている家庭・地域における教育力の向上に向けた仕組みづくりについて、ソフト面及びハード面からの検討を行った。					

	事業名		事業結果	
主な事業	家庭・地域の教育力向上検討事業	平成28年度	全国的に喫緊の課題となっている家庭・地域における教育力の向上に向けた仕組みづくりについて、引き続きソフト面及びハード面からの検討及び関係課との調整を行った。	
		平成29年度	全国的に喫緊の課題となっている家庭・地域における教育力の向上に向けた仕組みづくりについて、不登校対策事業の見直しについて検討を行った。	
平成30年度		※予算計上なし これまでからの検討内容を基に不登校対策事業を見直し、より効果的な事業運営を行った。		
	地域子育てひろば支援事業	平成27年度 ～ 平成30年度	<p>家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。 地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <p><平成27年度> 下村集会所、開集会所、平町集会所、平尾東集会所、伊勢田北集会所、明星集会所（新規）</p> <p><平成28年度> 下村集会所、開集会所、平町集会所、平尾東集会所、伊勢田北集会所、明星集会所</p> <p><平成29年度> 下村集会所、開集会所、平町集会所、平尾東集会所、伊勢田北集会所、明星集会所</p> <p><平成30年度> 下村集会所、開集会所、平町集会所、伊勢田北集会所、明星集会所</p>	

	事業名	事業結果
<p>主な事業</p>	<p>放課後子ども教室支援事業</p>	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行った。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めることができた。</p> <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北槇っ子くらぶ ・開催場所 北槇島小学校 ・開催期間 5月9日～28年3月9日 ・開催日数 24日 ・参加人数 延べ1,252人 <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北槇っ子くらぶ、笠二っ子クラブ ・開催場所 北槇島小学校、笠取第二小学校 ・開催期間 5月7日～29年3月1日、4月1日～29年3月30日 ・開催日数 23日、168日 ・参加人数 延べ1,393人、延べ1,351人 <p><平成29年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北槇っ子くらぶ、笠二っ子クラブ、まなび(宿題)教室 ・開催場所 北槇島小学校、笠取第二小学校、平盛小学校 ・開催期間 5月20日～30年2月28日、4月3日～30年3月29日、4月12日～30年3月14日 ・開催日数 24日、200日、172日 ・参加人数 延べ1,395人、延べ1,695人、延べ1,934人 <p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北槇っ子くらぶ、笠二っ子クラブ、まなび(宿題)教室 ・開催場所 北槇島小学校、笠取第二小学校、平盛小学校 ・開催期間 通年 ・開催日数 23日、199日、149日 ・参加人数 延べ1,207人、延べ1,353人、延べ1,597人

主な事業	事業名	事業結果
	地域の見守り活動	平成27年度
平成28年度		<p>【市内】「青パト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会等の団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を含め市内のパトロールを実施し、児童生徒、保護者の体感治安の向上に努めた。 ・総務課の実施回数 19回</p> <p>【学校】 小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りや防犯カメラでの監視等を行うことで不審者対策を徹底する。 小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計132名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,509回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った。</p> <p>【保育】 安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置等に対し補助を行った。 ・公立保育所 8,713千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ・民間保育所（園）・民間認定こども園 24,658千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。</p>

	事業名	事業結果
主な事業	地域の見守り活動	<p>【市内】「青パト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会等の団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を含め市内のパトロールを実施し、児童生徒、保護者の体感治安の向上に努めた。 ・総務課の実施回数 16回</p> <p>【学校】 小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りや防犯カメラでの監視等を行うことで不審者対策を徹底する。 小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計149名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,734回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った。</p> <p>【保育】 安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置等に対し補助を行った。 ・公立保育所 8,661千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ・民間保育所（園）・民間認定こども園 24,914千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。</p>
	地域の見守り活動	<p>【市内】「青パト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会等の団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を含め市内のパトロールを実施し、児童生徒、保護者の体感治安の向上に努めた。 ・総務課の実施回数 20回</p> <p>【学校・幼稚園】 小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りや防犯カメラでの監視等を行うことで不審者対策を徹底した。 小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計142名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,463回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った。 市内の私立幼稚園に対して、幼稚園運営支援員の配置等に対する補助を行った。</p> <p>【保育】 安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置等に対し補助を行った。 ・公立保育所 8,634千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ・民間保育所（園）・民間認定こども園 24,625千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。</p>

	事業名	事業結果
主な事業	心と学びのパートナー派遣事業	平成27年度 別室登校や不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学生の不登校増加に伴い、平成27年度からは4小学校に配置した。 ・対応延べ人数 1,581人
		平成28年度 別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校と4小学校に派遣した。 ・対応延べ人数 2,152人
		平成29年度 別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学校での有効な活用が難しかったため、小学校では実施しなかった。 ・対応延べ人数 1,919人
		平成30年度 別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を府事業「心の居場所サポーター」の配置がない市内6中学校に派遣した。 ・対応延べ人数 757人
中間総括	<p>地域住民が開設する「子育てひろば」への運営費等の補助及び放課後を活用した遊びと学びの場を提供する放課後子ども教室の実施により、子育て家庭の支援の促進と子どもを地域で育てる社会教育の環境づくりを推進することができた。また、市内大学の臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」により、不登校傾向の生徒の相談に応じるなど、地域と協働した取組を構築することができた。</p> <p>今後においても、地域で子育てを支える仕組みを構築するため、市民ニーズの把握、分析に努めながら、家庭学習の定着や地域活動への参加につながる事業を実施する必要がある。</p>	

国の地方創生関連交付金を活用した事業結果

地方創生推進交付金（平成30年度） ※補助率1/2

今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業

事業概要
 京都全域において地域の文化資源を活用した観光振興や、文化の国際発信力の向上を図り、京都市に訪れる国内外の観光客をさらに拡大するとともに、それらを京都府全域への周遊へつなげていくため、圏域内の観光・交流・集客等に関する事業を民間事業者の創意工夫を引き出しながら一元的・総合的に実施できる体制整備を進めた。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値
観光客の宇治市満足度（※） （飲食・お土産・景観等）	68～95% (H23年度)	—	55～93%	—	—		全て85%以上 (R4年度)
観光客のリピーター割合 （※）	58% (H23年度)	—	56%	—	—		70% (R4年度)
交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人	5,398,510人		7,500,000人 (R1年)

※観光動向調査より

事業結果

事業名	事業結果 掲載ページ	事業費（実績） （千円）	財源内訳 （千円）	
			交付金	一般財源
魅力発信プラットフォーム運営等事業	5	39	19	20
放ち鶉飼プロジェクト検討事業	8	3,500	1,750	1,750
観光駐車場等対策事業	9	380	123	257
観光案内所管理運営費	9	6,452	2,091	4,361
観光振興計画推進事業	10	299	139	160
観光活性化事業補助金	11	3,287	1,444	1,843
観光情報発信事業	12	5,795	2,698	3,097

事業名	事業結果 掲載ページ	事業費（実績） （千円）	財源内訳 （千円）	
			交付金	一般財源
観光案内サイン整備事業	13	2,476	802	1,674
観光インバウンド推進事業	15	7,020	3,268	3,752
観光地美化対策事業	13	6,182	2,003	4,179
源氏物語ミュージアム広報活動事業	16	2,502	1,251	1,251
源氏物語ミュージアムリニューアル事業	29	139,996	56,018	83,978
お茶の京都DMO協議会負担金	18	17,856	8,928	8,928
宇治茶宣伝事業補助金	19	250	117	133
宇治茶普及宣伝事業	20	45	21	24
宇治茶巡りガイドツアー事業	20	75	35	40
宇治茶おもてなし推進事業	22	785	366	419
茶・茶園品評会出品奨励費	24	5,337	2,491	2,846
市内産宇治茶ブランド化推進事業	27	947	442	505
企画展示	29	3,335	1,667	1,668
国際交流事業	47	6,482	3,018	3,464
「宇治学」推進事業	50	10,044	5,022	5,022
「宇治学」宇治の魅力体験支援事業	50	2,025	1,012	1,013
中小企業振興対策事業	66	4,746	2,210	2,536
商業活力再生支援事業	79	3,000	1,500	1,500
	合計	232,855	98,435	134,420

事業結果

平成30年度
評価・課題

国際観光都市である京都市を訪れた観光客を府内全域に誘導し、府内滞在時間を延長させ、観光消費額の増大を図るため、京都府や京都市、京都府内市町村で様々な事業を戦略的に展開する中、本市においても、平成30年4月に策定した「宇治市観光振興計画後期アクションプラン」において、京都市やお茶の京都DMO等との連携による観光プロモーションについて重要項目として示した。

各所イベントでのPR等を通じて宇治茶のブランド価値を高めるとともに、観光案内サインの整備や駐車場対策等による観光客の受入体制の強化を、引き続き図ることができた。

加えて、源氏物語ミュージアムのリニューアルを行い、特別企画展をはじめとする事業や年間を通じた計画的かつ効果的な広報により、さらなる観光誘客を行った。

また、「宇治学」などを通じて市民が宇治への愛着を育み、宇治市を誇りに思うことで観光客へのおもてなし力を向上させ、観光客の満足度、そこから繋がる観光客のリピーター割合を向上させるため効果的な事業を実施していく必要がある。

今後は、市民アンケート調査の結果も踏まえながら、新たな事業を検討していく必要がある。

【参考】地方創生関係交付金事業の推移

京都府 広域連携分「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」（先駆タイプ）

(単位 千円)

推進 交付金	予算年度	交付金名	国予算措置	交付率	事業数	交付額	主な内容
	27当初予算 26→27繰越	地方創生先行型	26補正 1,400億円	10/10	17事業	105,655	宇治茶ブランド化、福祉・教育分野の拡充 施策を打ち出す
		上乗せ交付分	26補正 300億円	10/10	11事業	43,613	先駆性を有する事業で、観光関連施策を中 心に打ち出す
1年目	27→28繰越	地方創生加速化	27補正 1,000億円	10/10	23事業	74,574	魅力発信やDMO、宇治学などの新たな施 策を加えて展開
	28当初予算	地方創生推進	28補正 1,000億円	1/2	5事業	4,850	子育て支援と中小企業振興対策などの ソフト事業を追加
2年目	29当初予算	地方創生推進	29当初 1,000億円	1/2	30事業	71,831	観光関連事業(加速化交付金の継続)に加 え、宇治の魅力発信を中心に実施
3年目	30当初予算	地方創生推進	30当初 1,000億円	1/2	25事業	98,435	これまでの先駆的な施策に加え、源氏物語 ミュージアムのリニューアルを実施
4年目	31当初予算	地方創生推進	31当初 1,000億円	1/2	54事業	97,156 (交付決定額)	新たに産業戦略に係る事業を追加

平成27年度 重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧

指標	基準値	平成27年度	目標値
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件	目標達成 1,000件 ↓ 2,000件 (H31年度)
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人	目標達成 6,500人 ↓ 7,500人 (H31年度)
宇治茶巡りガイドツアー参加者数	0人 (H26年度)	1,036人	目標達成 1,000人 ↓ 1,200人 (H31年度)
市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	目標達成 4時間 ↓ 5時間 (H31年度)
海外販路における取引数 ※宇治商工会議所が実施する販路開拓数	6社41品目 (H26年度)	22社 154品目	目標達成 10社以上60品目 以上 ↓ 25社以上170品目 以上 (H31年度)

平成28年度 重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧

指標	基準値	平成28年度	目標値
魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	21団体	目標達成 20団体 ↓ 25団体 (H31年度)
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	2,607件	目標達成 2,000件 ↓ 3,500件 (H31年度)
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	8,442人	目標達成 7,500人 ↓ 9,000人 (H31年度)
源氏物語ミュージアムでの音声ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	6,159件	目標達成 5,500件 ↓ 6,500件 (H31年度)
JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人 (H27年度)	目標達成 310万人 ↓ 320万人 (H31年度)

平成29年度 数値目標値修正一覧

数値目標	基準値	平成28年度	目標値
市内総生産	5,392億円 (H24年)	6,417億円 (H26年)	目標達成 5,900億円 ↓ 7,000億円 (H31年度)

平成29年度 重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧

指標	基準値	平成29年度	目標値
魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	27団体	目標達成 25団体 ↓ 28団体 (H31年度)
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	11,803人	目標達成 9,000人 ↓ 13,000人 (H31年度)
源氏物語ミュージアムでの音声ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	8,182件	目標達成 6,500件 ↓ 14,000件 (H31年度)

人口動向分析

宇治市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）は、国立社会保障・人口問題研究所が平成22年国勢調査人口を基準として推計した値を基に、国の長期ビジョンに示された合計特殊出生率と合わせて令和2年度に社会動態が0人になることを目標として推計しています。

人口ビジョンと平成27年度国勢調査人口に人口動態を反映させた推計人口を比較すると、表1のとおり、宇治市の人口は平成27年において人口ビジョンを下回り、その差は広がってきています。

次に、表2の人口動態の推移をみると、自然動態（出生－死亡）は減少し続けている一方、社会動態は、2012年（平成24年）以降、転出超過が続いているものの、2016年（平成28年）からは転出超過の幅が縮小傾向にあります。人口動態全体においても、2016年（平成28年）以降は減少幅が縮小しています。

これらのことから、地方創生の取組の効果が一定、表れているものとも推測されますが、人口減少は大きく進展しています。国においても長期ビジョン等の見直しが検討されており、今後、第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて、国の動向を踏まえながら人口ビジョンを見直す必要があります。

表1 人口ビジョンと推計人口との比較

	2010 H22	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	...	2060 R42
人口ビジョンA	189,609	187,586	187,340	187,093	186,846	186,599	186,352	...	152,985
推計人口(※)B	189,609	184,678	183,711	182,921	182,170				
B-A	0	△ 2,908	△ 3,629	△ 4,172	△ 4,676				

※平成22・27年度は国勢調査の人口。平成28年度以降は、平成27年度国勢調査人口をベースに、その後の自然・社会動態を反映した人口。

表2

	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30
自然動態	168	56	△ 11	△ 135	△ 290	△ 344	△ 374	△ 455	△ 561
社会動態	△ 220	226	△ 524	△ 803	△ 656	△ 889	△ 575	△ 318	△ 202
合計	△ 52	282	△ 535	△ 938	△ 946	△ 1,233	△ 949	△ 773	△ 763

※自然増減は、当該年中（1月～12月）の「出生－死亡」の人数

※社会動態は、当該年中（1月～12月）の「転入－転出」の人数

宇治市と大学・企業等との主な連携内容一覧

地方創生の実現や地域社会の発展、人材育成に寄与すること等を目的に、大学、企業等と連携協定に関する協定を締結しています。

【大学等協定】

学校・研究所名	締結日	主な実績
京都文教大学・短期大学	H22.2.5	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整会議 ・連携協力推進会議 ・連携協力懇談会 ・COC共同研究・市政策研究 ・寄附講座 ・高齢者アカデミー など
京都大学 宇治キャンパス	H26.11.25	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整等会議 ・連携協力懇談会 ・スクールサイエンスサポート事業 ・市防災会議・防災講習 など
追手門学院大学	H29.2.23	<ul style="list-style-type: none"> ・大学授業へのゲストスピーカー など
京都府立大学	H30.6.22	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献型特別研究(ACTR) ・共同研究 ・市イベントへの参加 など

【企業協定】

事業者名	締結日	主な実績
京都銀行	H28.9.6	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催(クラウドファンディング活用セミナーH29年10月6日開催) ・香港訪問時のアテンド ・マクアケとのガバメントクラウドファンディングによる連携
京都中央信用金庫	H29.9.11	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生のための施策検討勉強会(リーサスを活用した地域経済把握) ・中信ビジネスフェアにおける宇治市ブースの出展 ・事業承継に関する中信・行政勉強会 ・「事業承継」に関するセミナー開催
宇治市内郵便局	H30.2.16	<ul style="list-style-type: none"> ・東京23区の郵便局への「ふるさと納税のパンフレット」を配架協力 ・障害のある方へのコミュニケーション、配慮についての出前講座 ・障害のある方を対象とした図書館図書郵送サービスの実施 ・郵便局や民間事業所、公共施設等におけるシェアサイクル事業を中宇治で展開 ・見守りサービス事業のふるさと納税返礼品提供
京都信用金庫	H30.3.30	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアオフィス視察案内 ・宇治地域クラウド交流会を開催(参加者 約400名) ・省エネ補助金活用セミナーに関する周知協力
あいおいニッセイ同和損保株式会社	H30.6.4	<ul style="list-style-type: none"> ・作業運転士向けドライブシミュレーターによる安全運転診断 ・青少年によるクリーン宇治運動(H30年11月25日開催)への参加協力 ・平成31年3月環境保全活動のための寄附 ・寄附を活用した環境事業(環境フェスタ)
ソフトバンク株式会社	H30.6.29	<ul style="list-style-type: none"> ・IoTを活用して路面情報を検知する実証実験を実施 ・ソフトバンク株式会社講師による研修 ・タブレット端末の導入 ・教育分野におけるPepperの導入 ・有料ごみ処理手数料におけるキャッシュレス決済試行導入
富士ゼロックス京都株式会社	H31.4.12	<ul style="list-style-type: none"> ・COOL CHOICE事業補助金申請に係る補助 ・COOL CHOICE普及啓発に係る事業の実施協力 ・SDGsに関する研修会(職員向け)の開催 ・中小企業対象セミナー(予定)